

鏡の怪異に

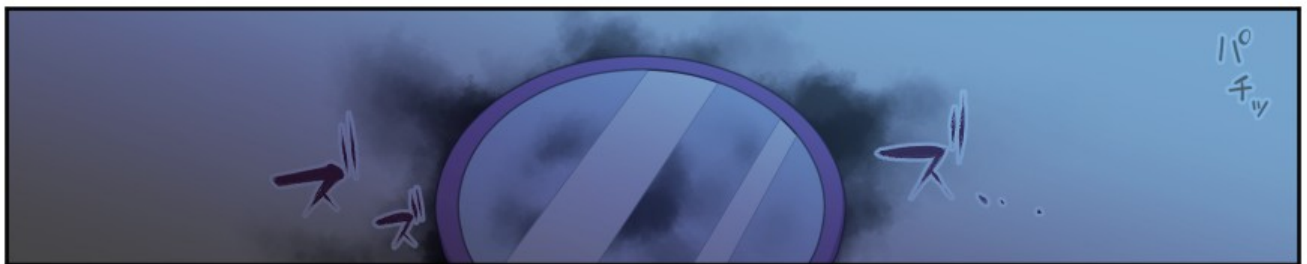
囚われた少女

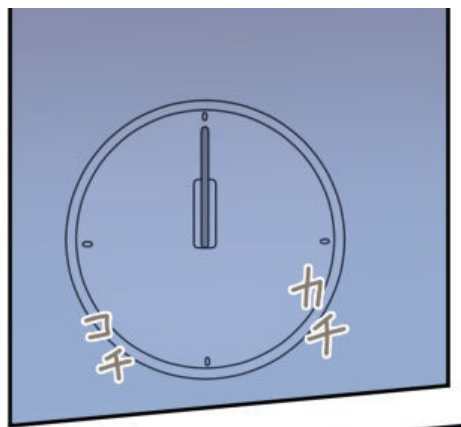
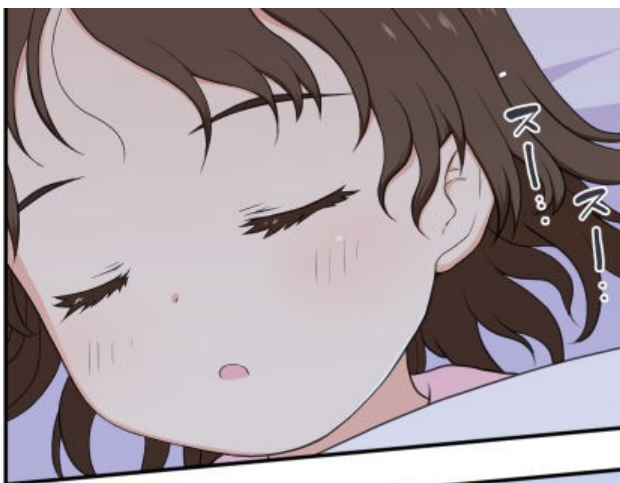
◆睡眠中に悪戯、挿入で目覚め、中出し、
更には怪異の巣へと連れ去られて……

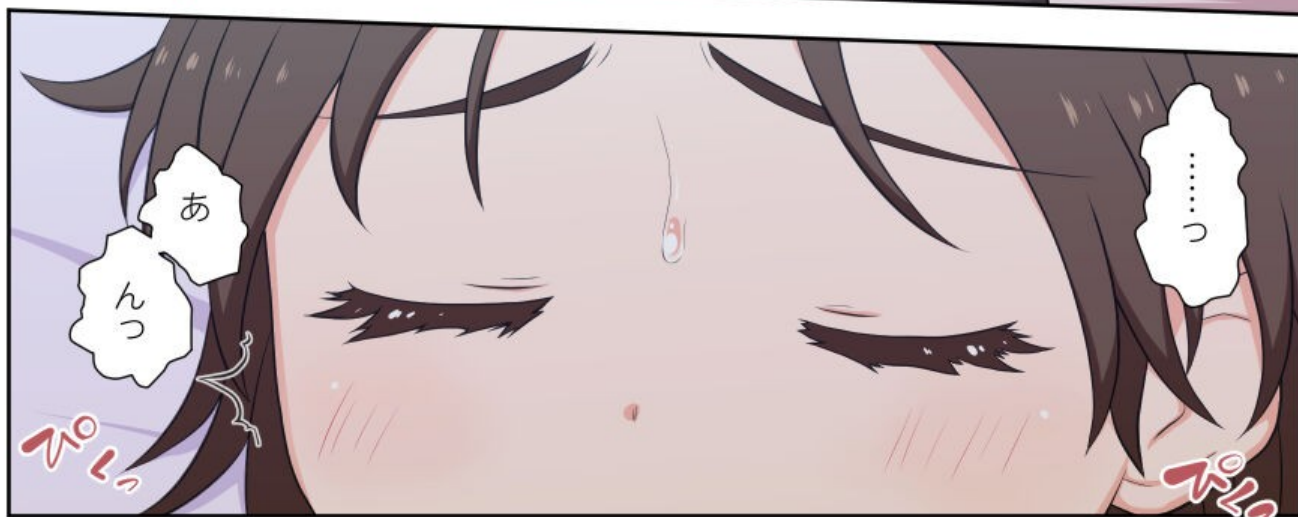
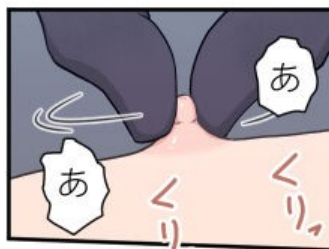
R18
ADULT ONLY

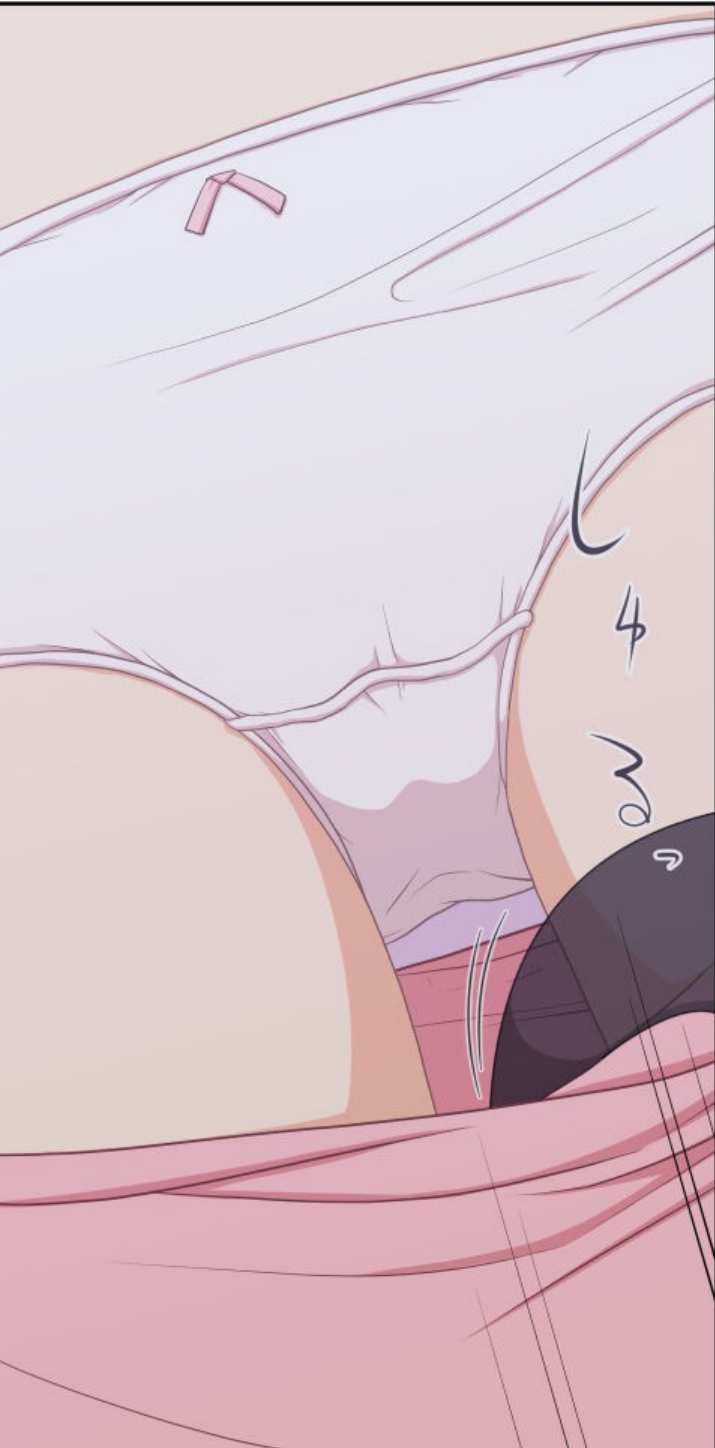
作:偽もの

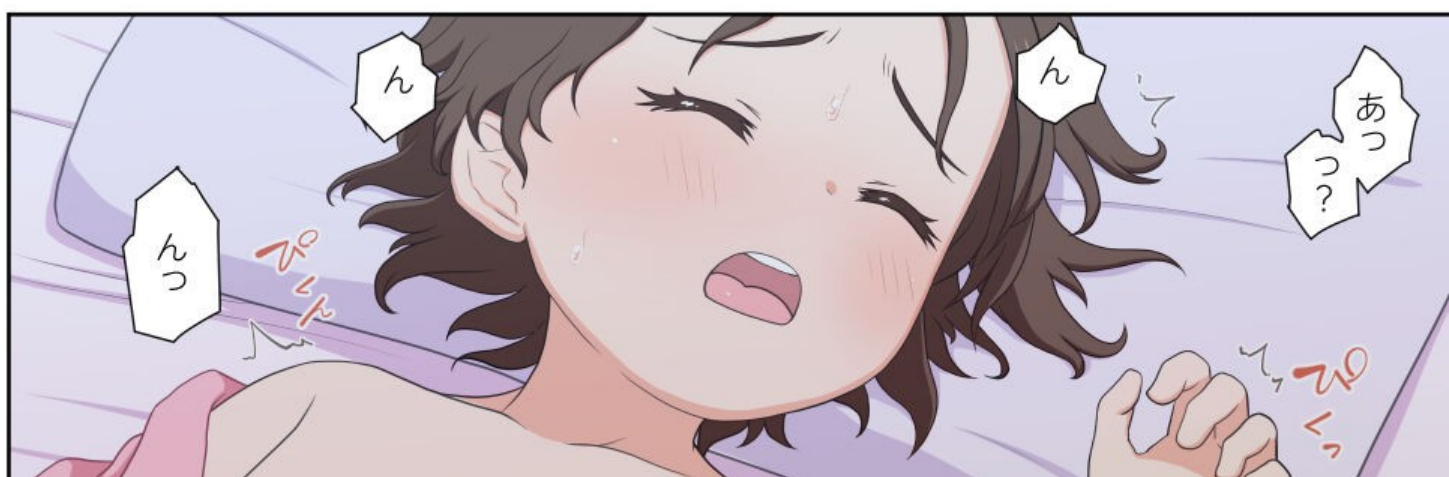


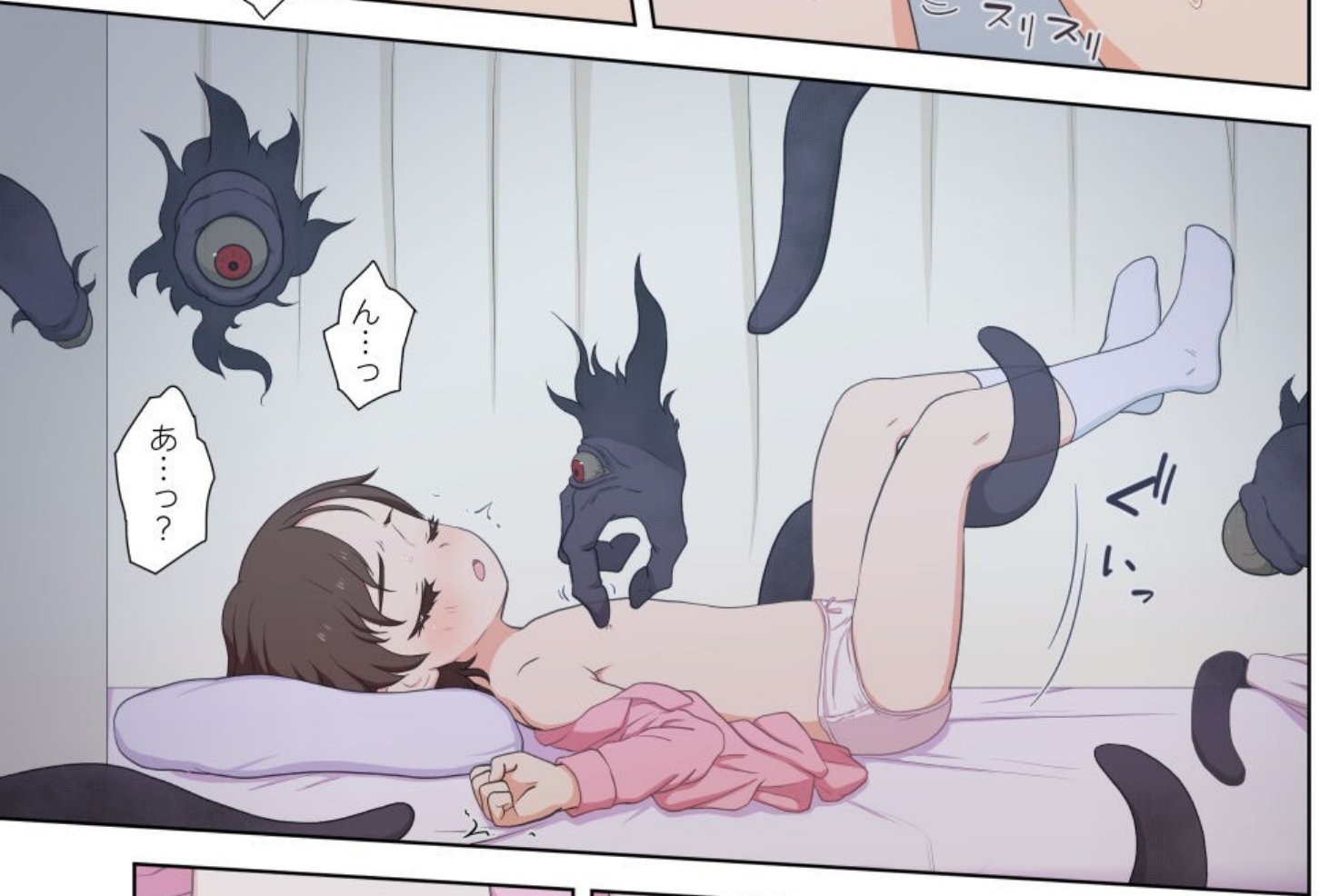
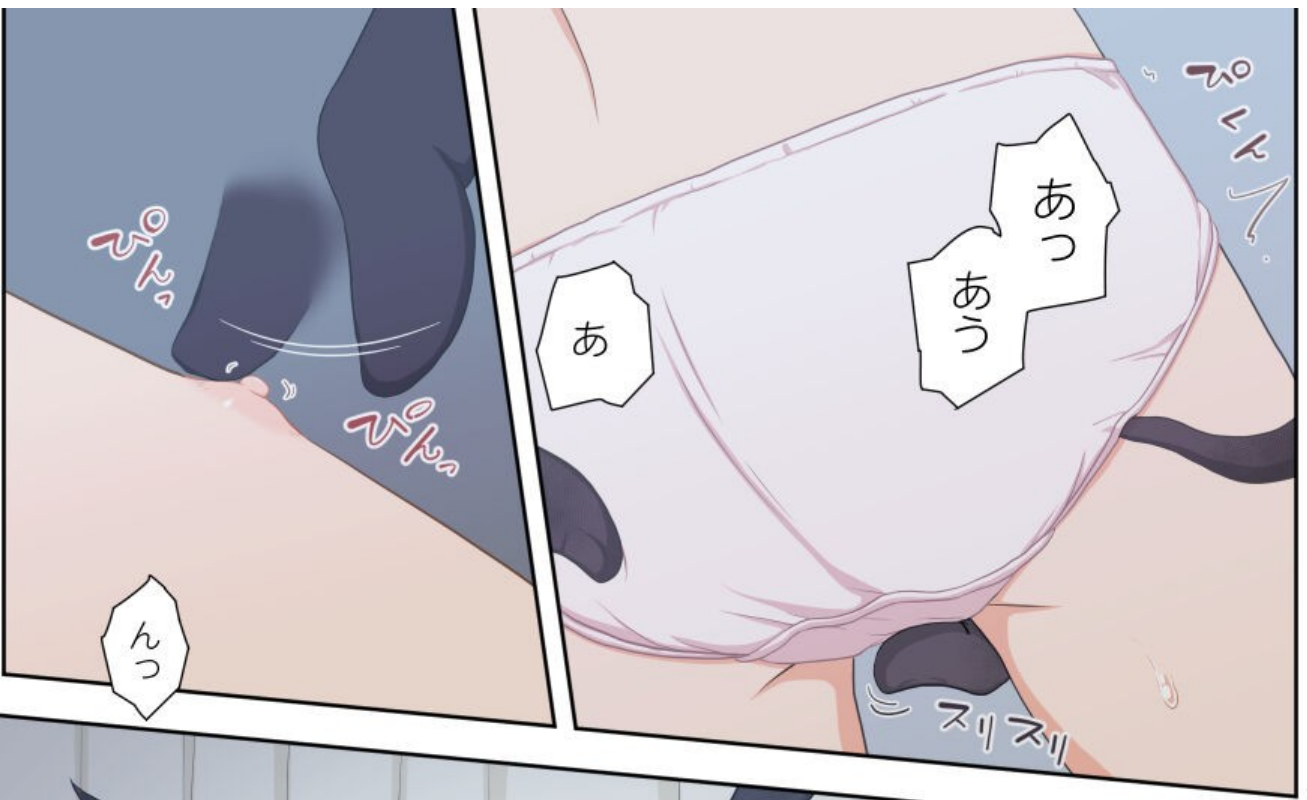


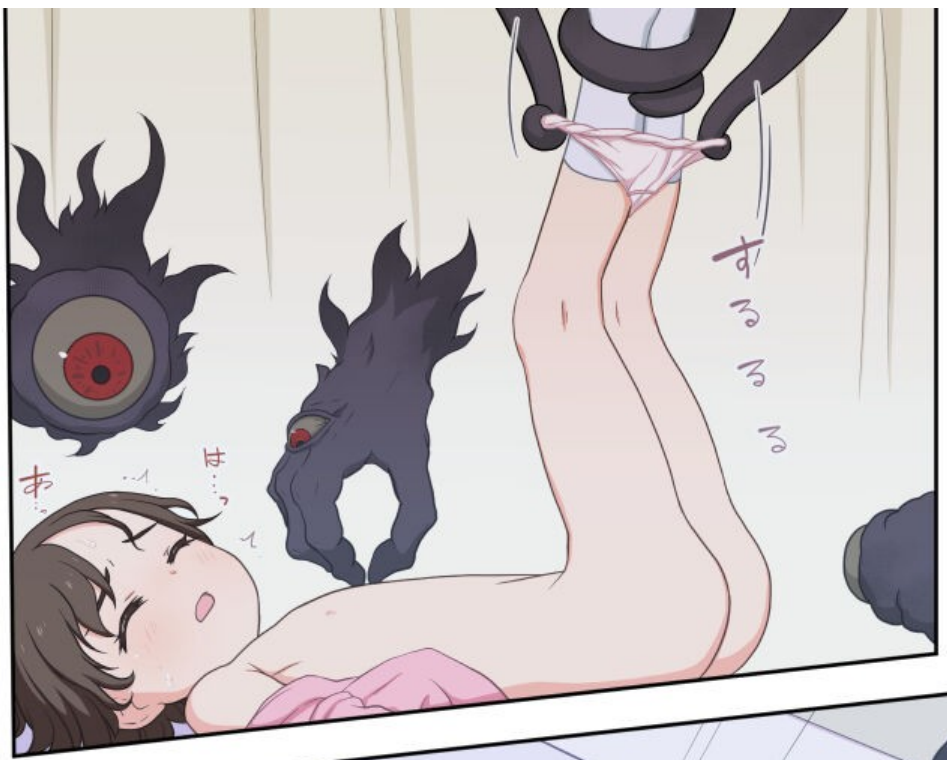


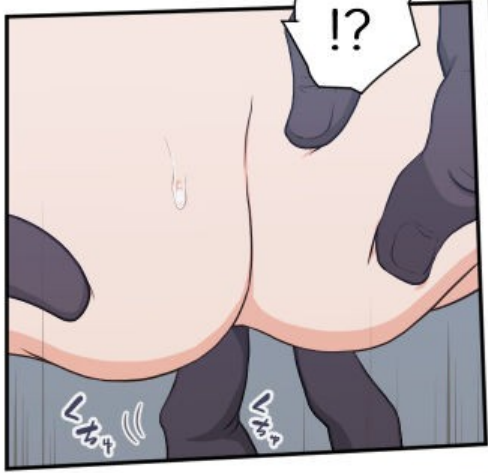


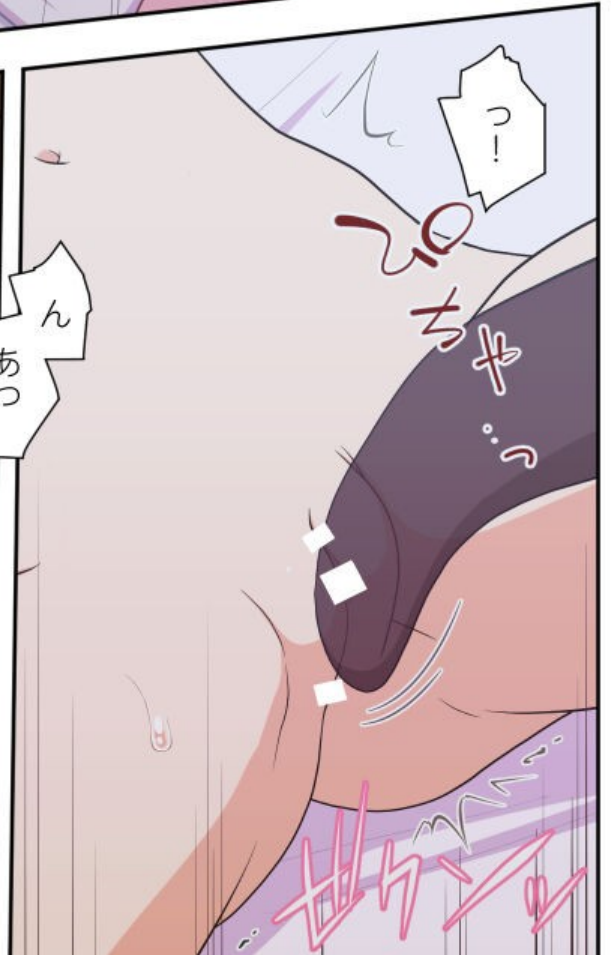


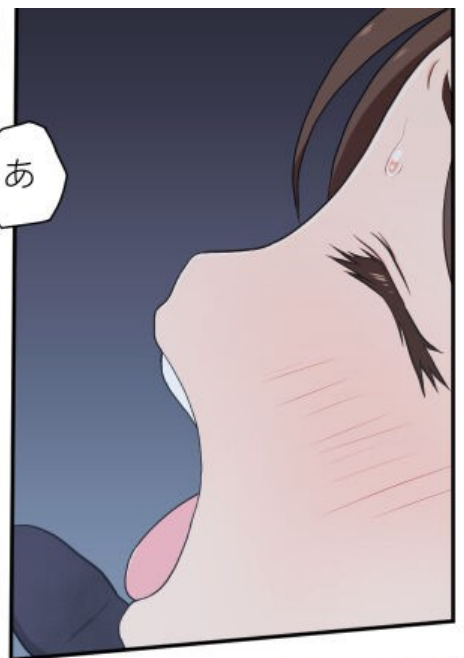




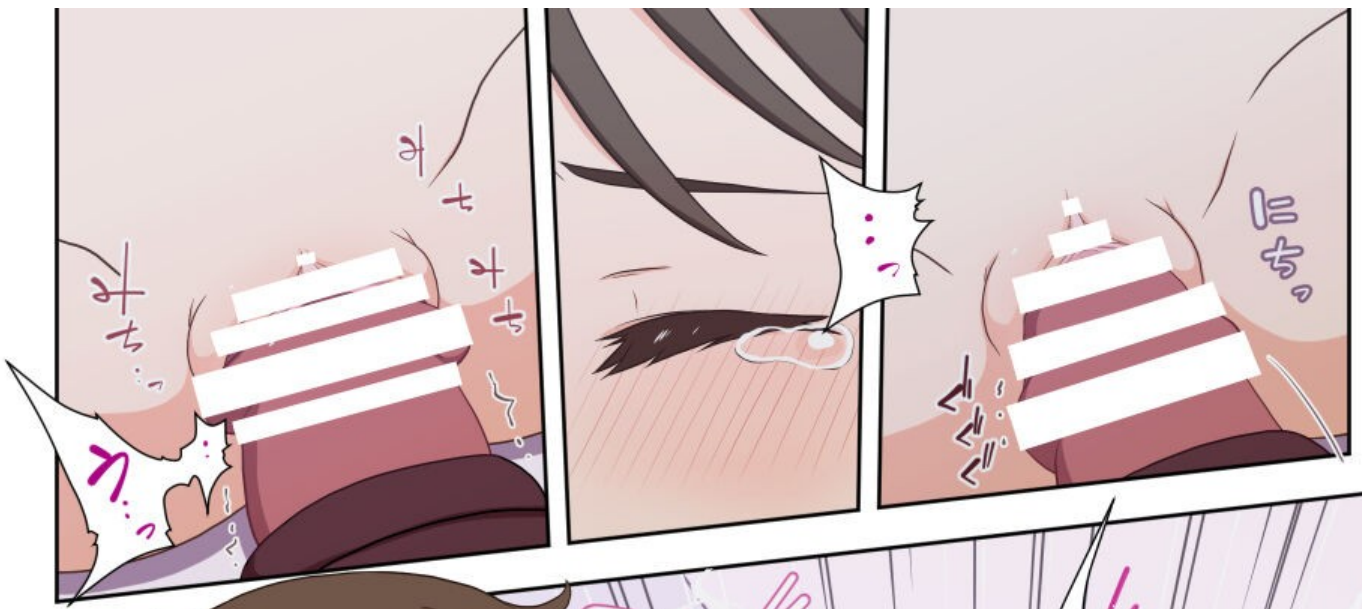


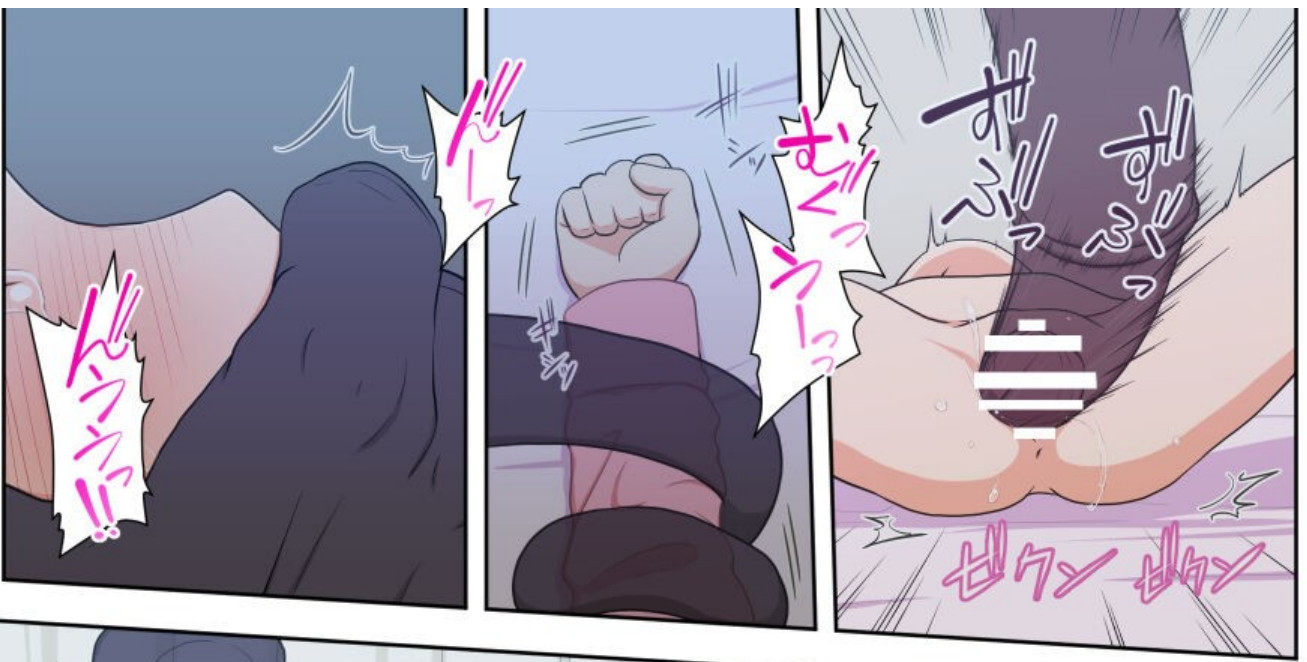


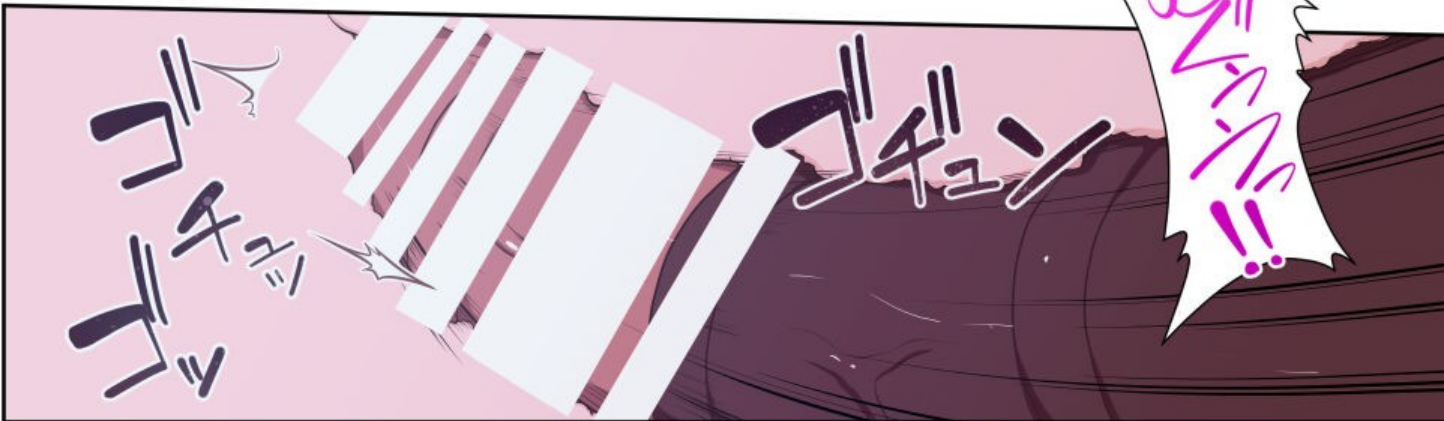
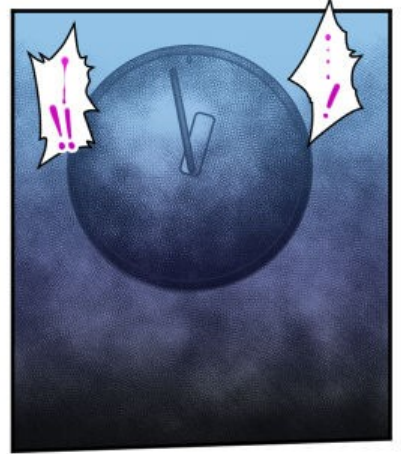
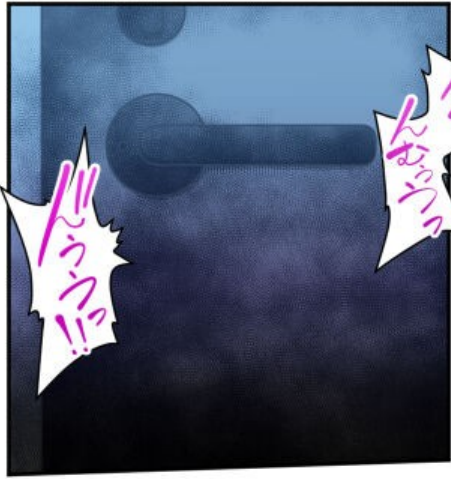


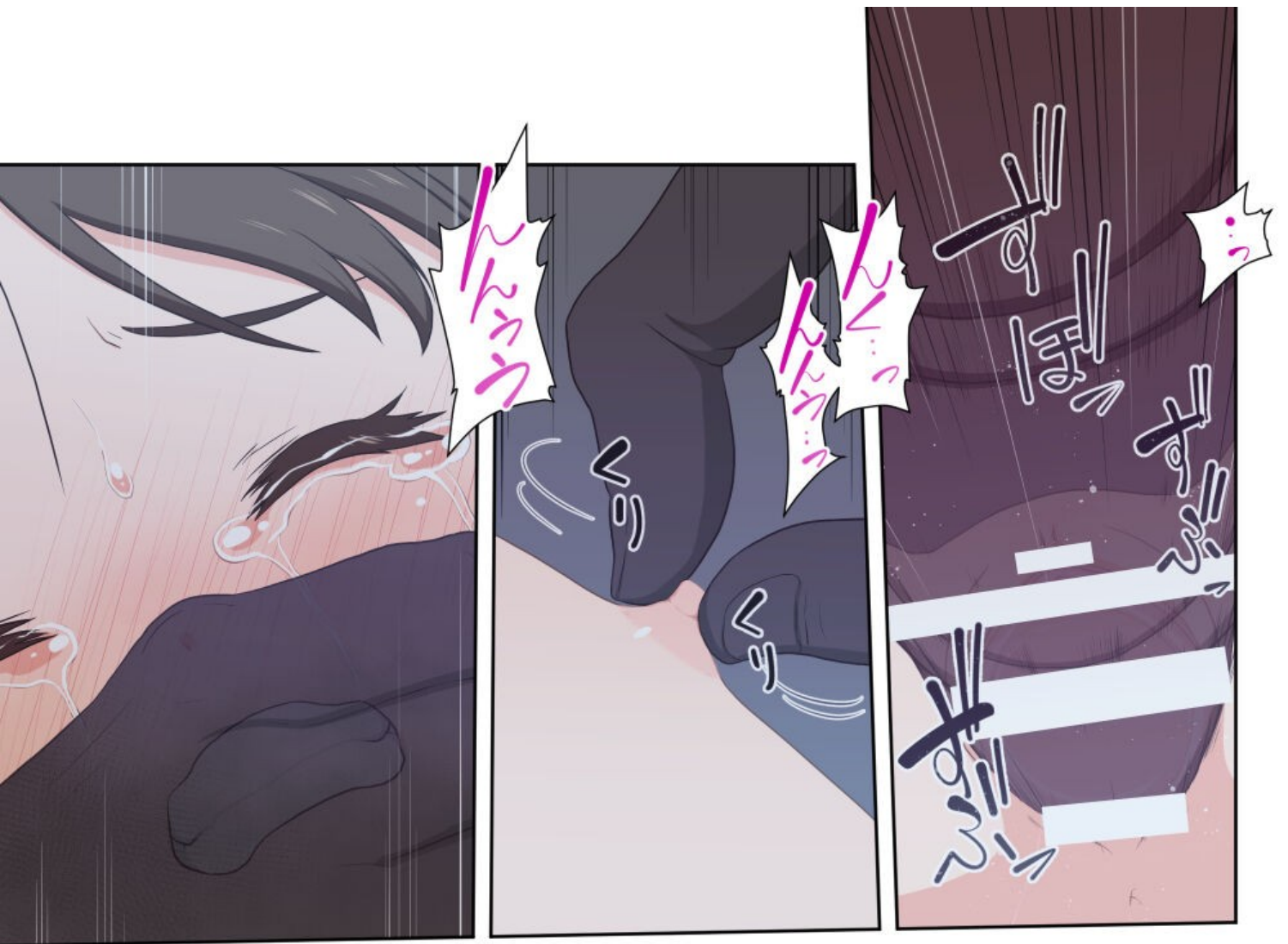




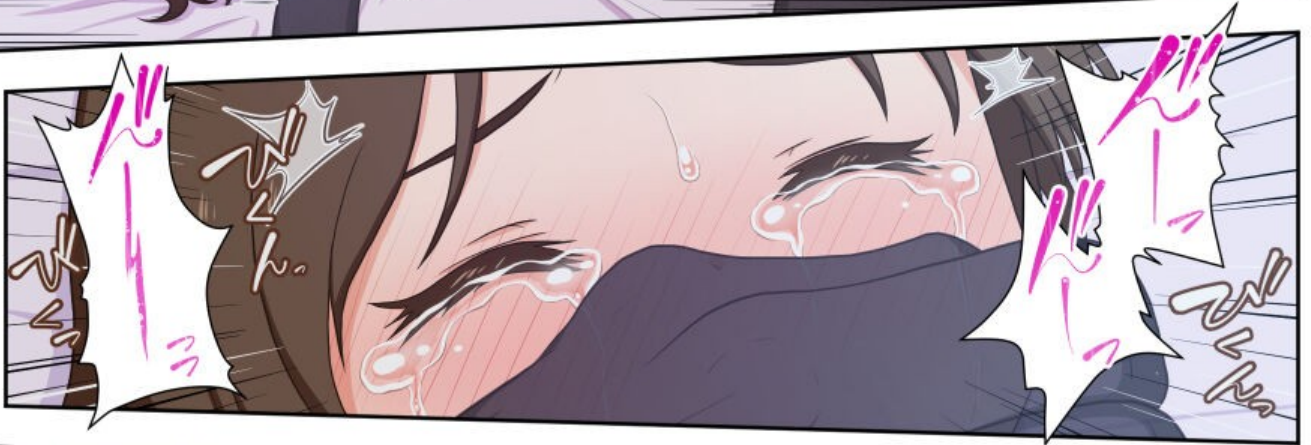










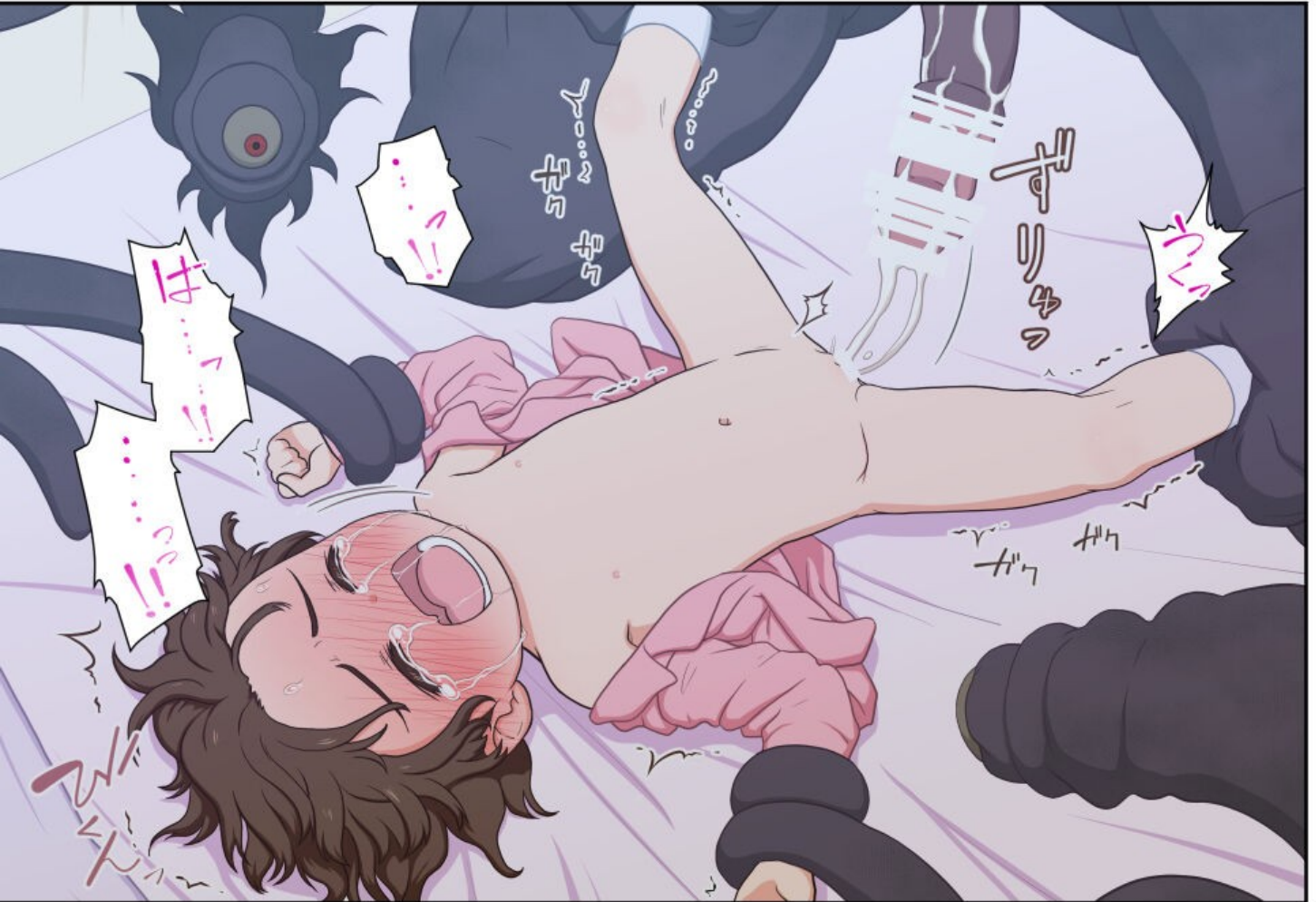


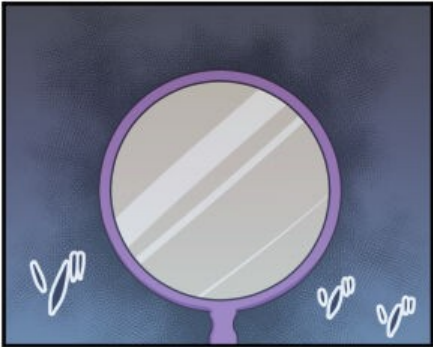


!!!

ああああああ!!!

!!!









あ...れ...?



ん...



次の子に
渡さなきゃ...

そう...次...



夢...

なんだっけ...
私...



鏡...

そうだ









あ……あ……
……待つ……!!

は……っ
ぐ……!!?

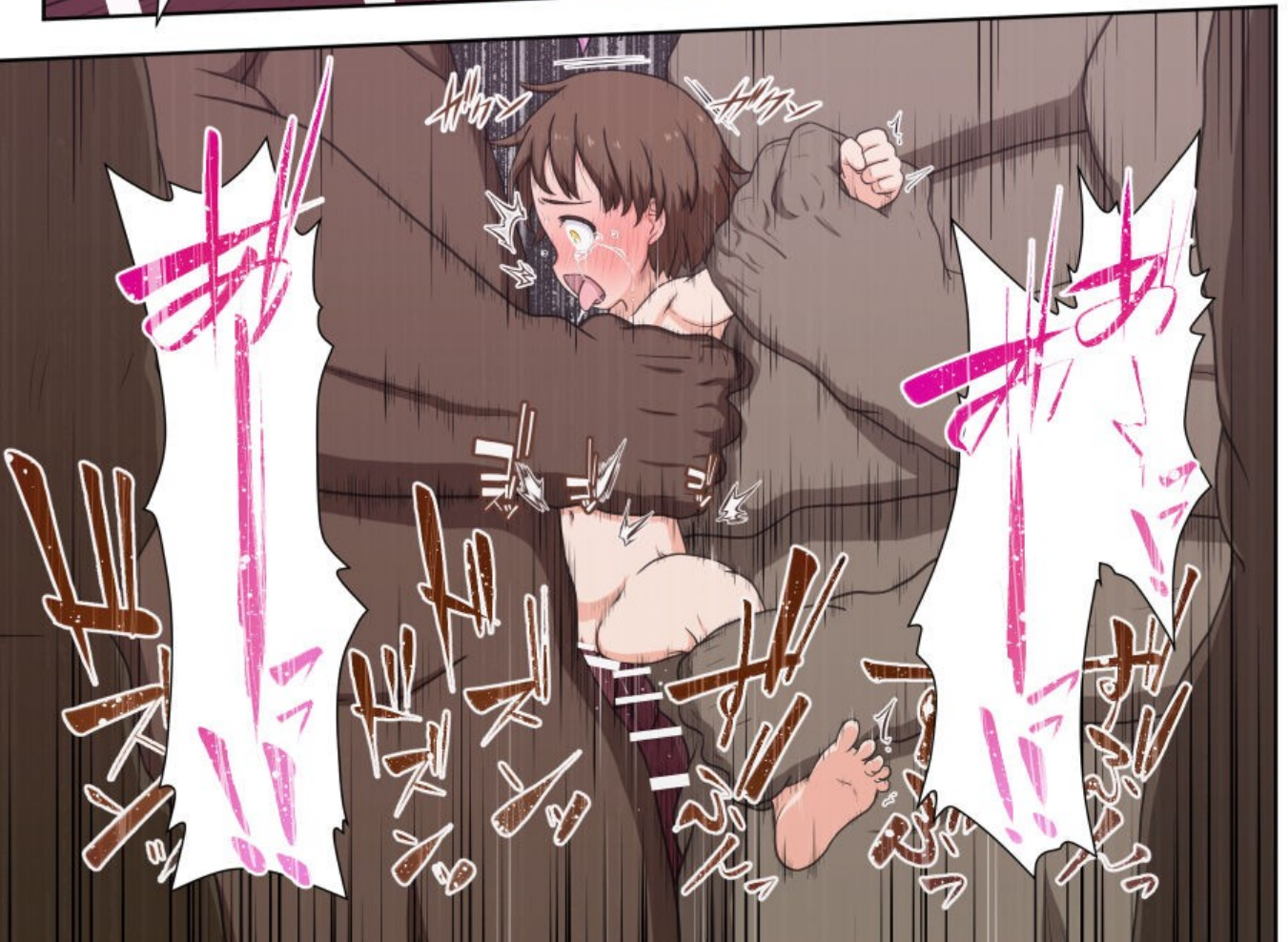
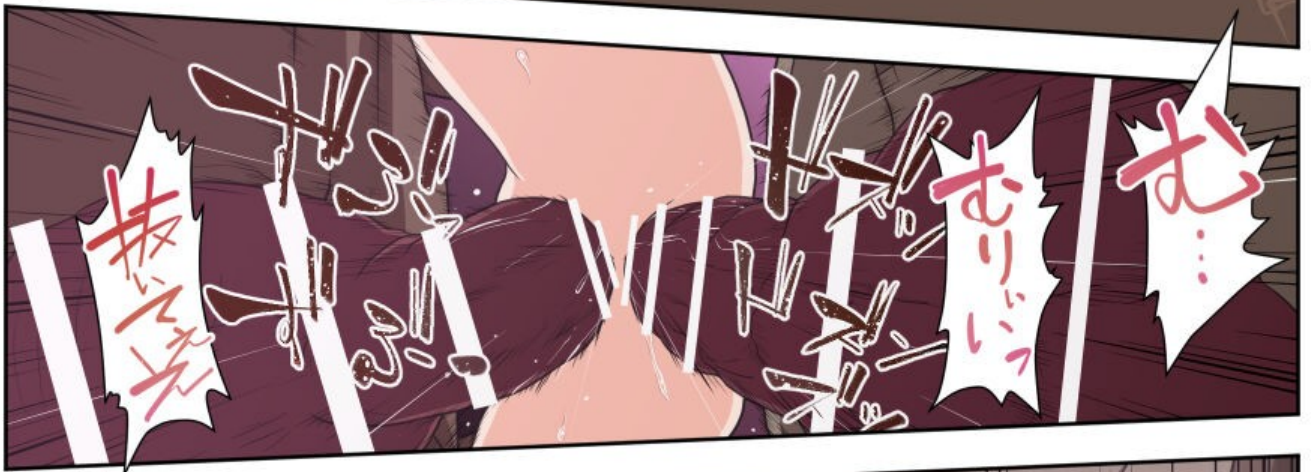
うっ!!?

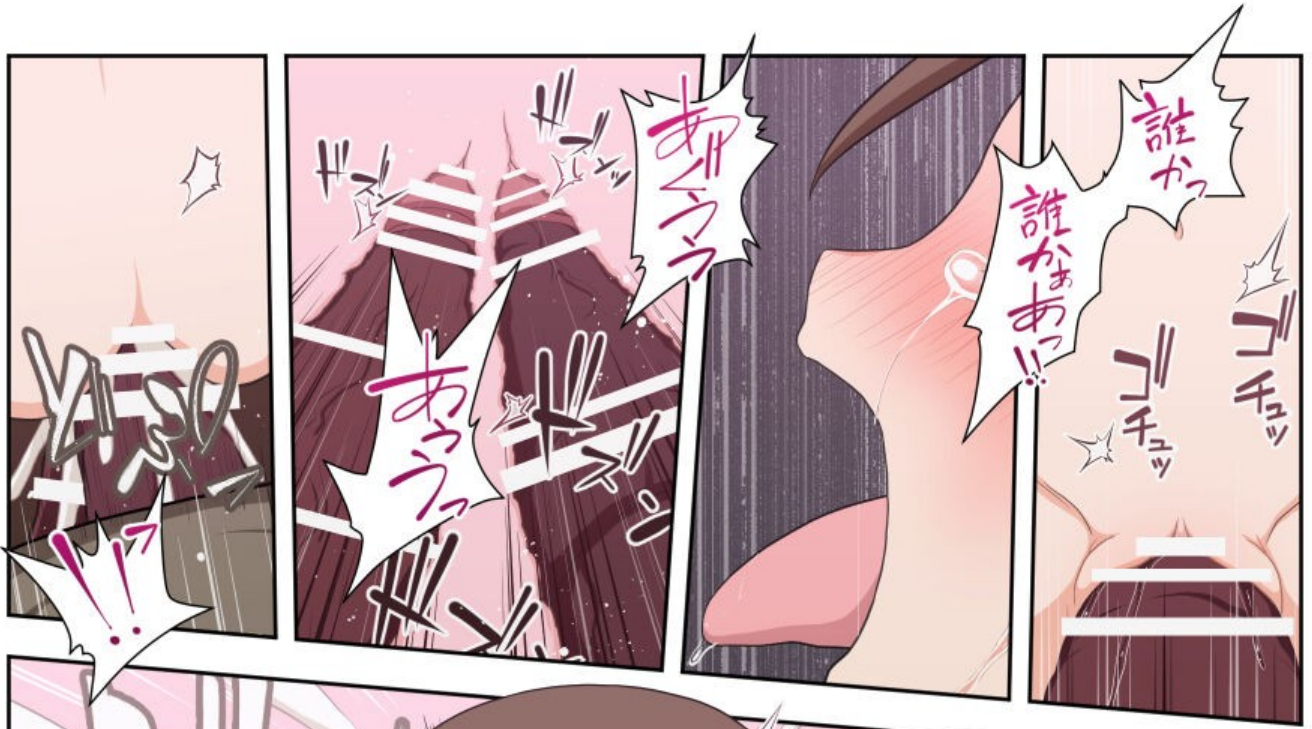


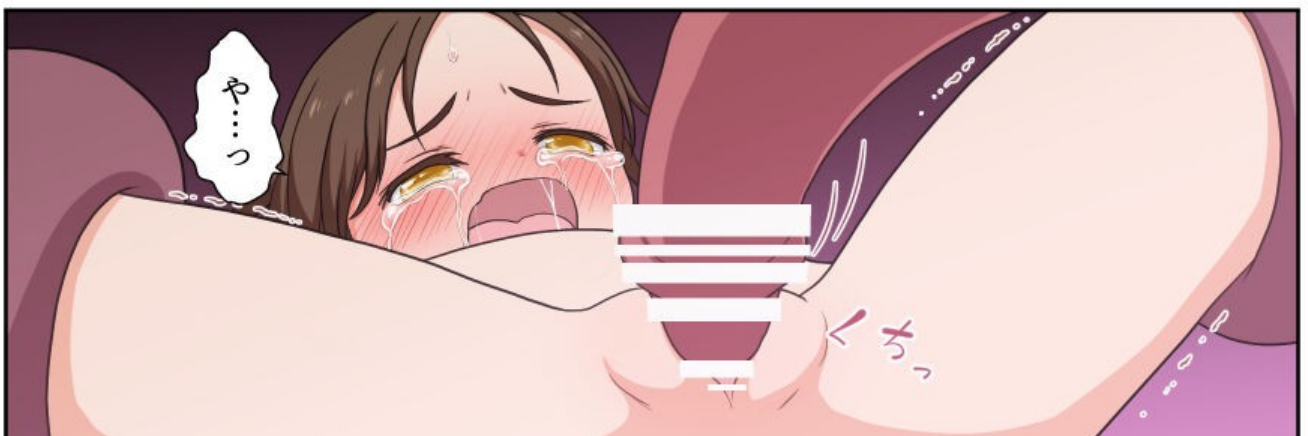
あ……あ……
……待つ……!!

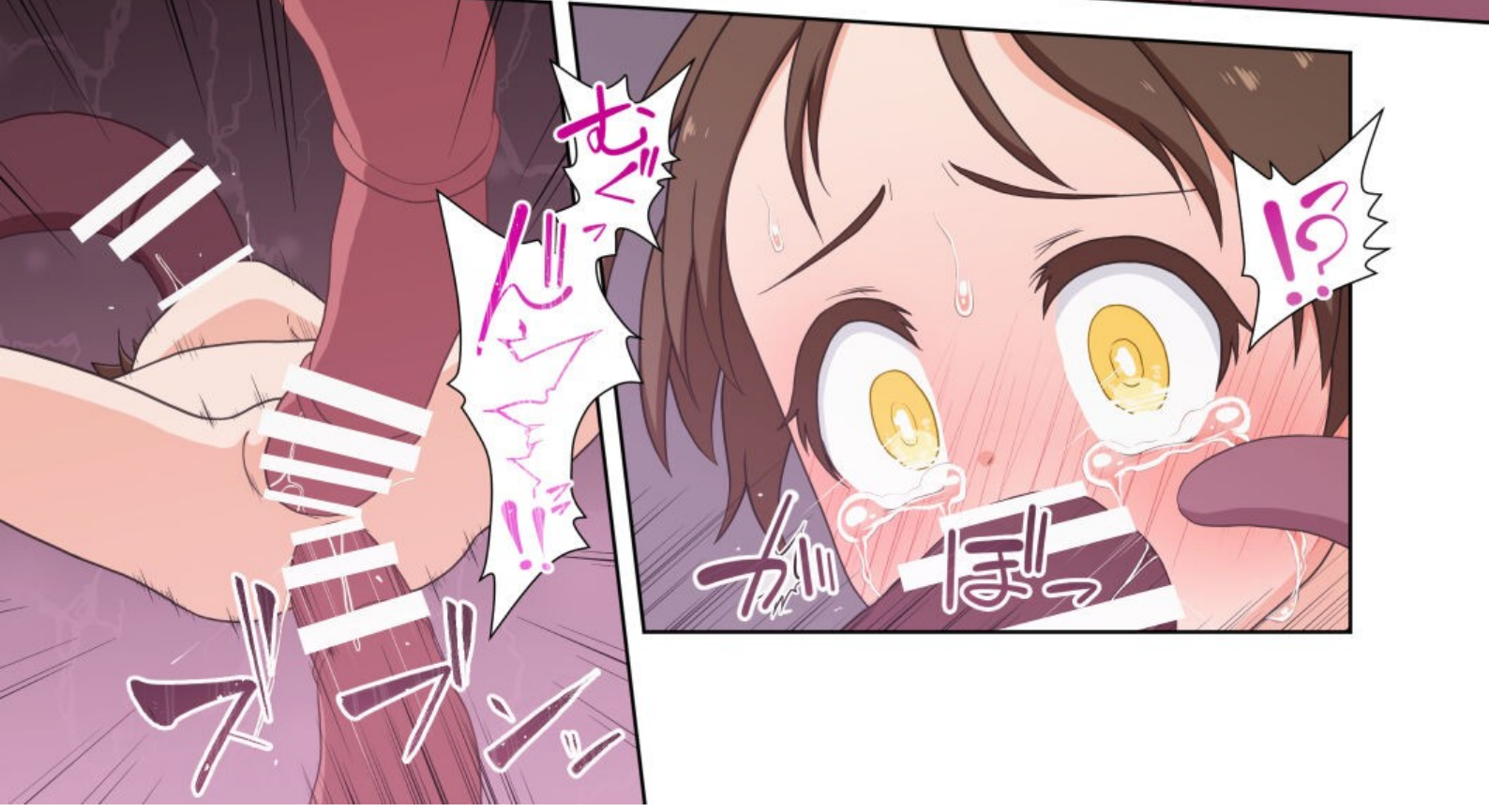
は……っ
ぐ……!!?

うっ!!?

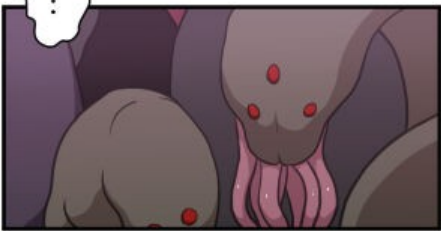


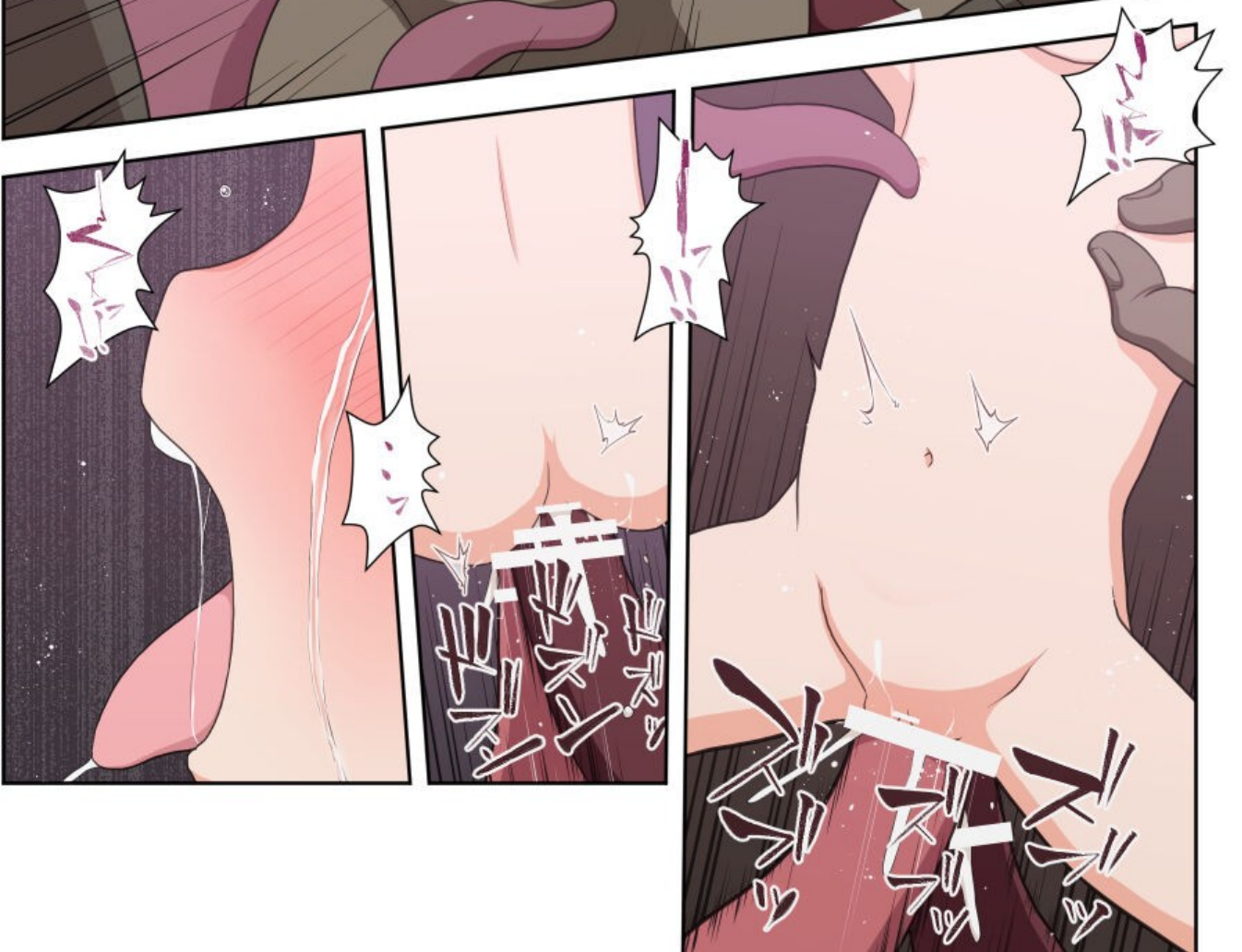


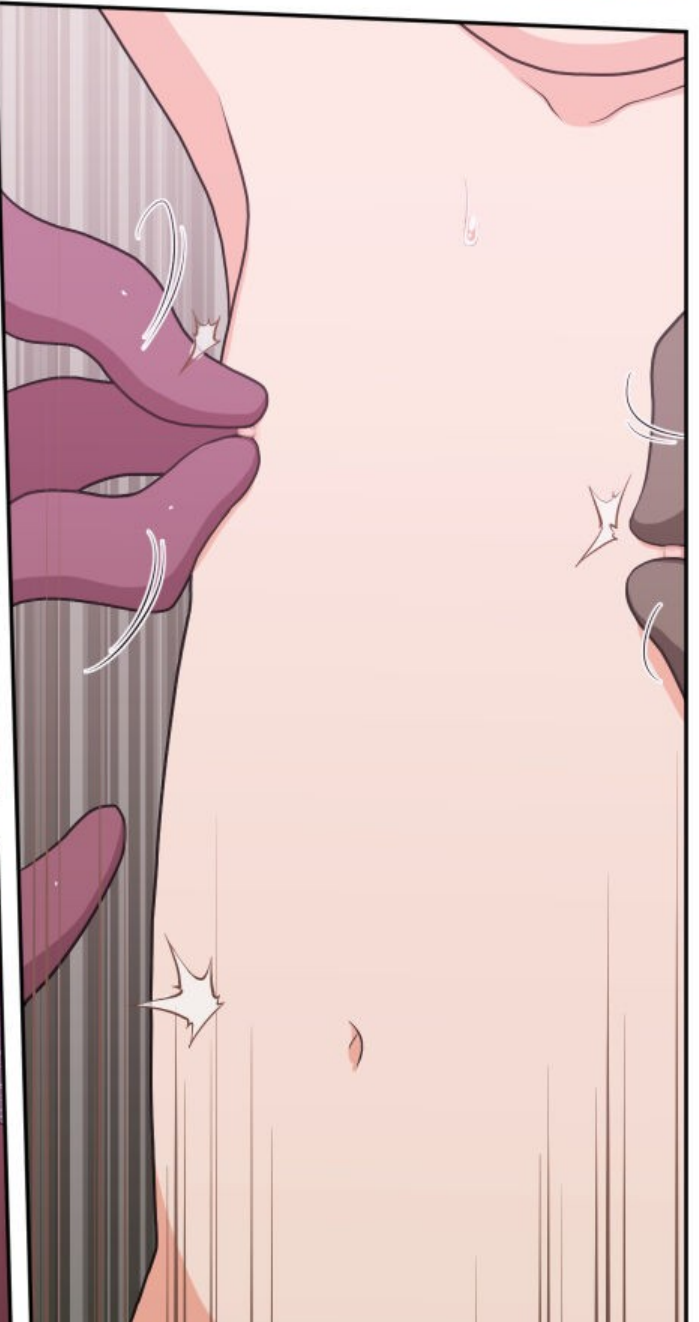
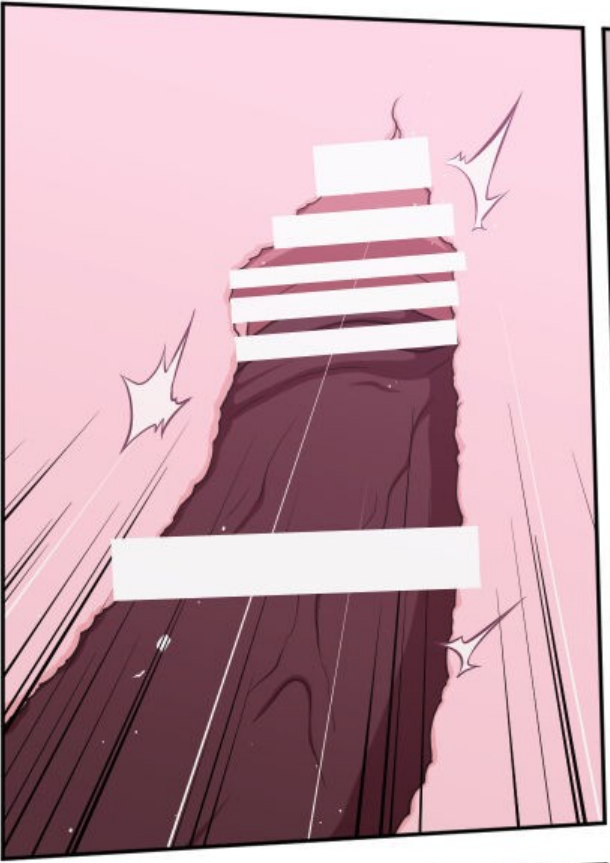


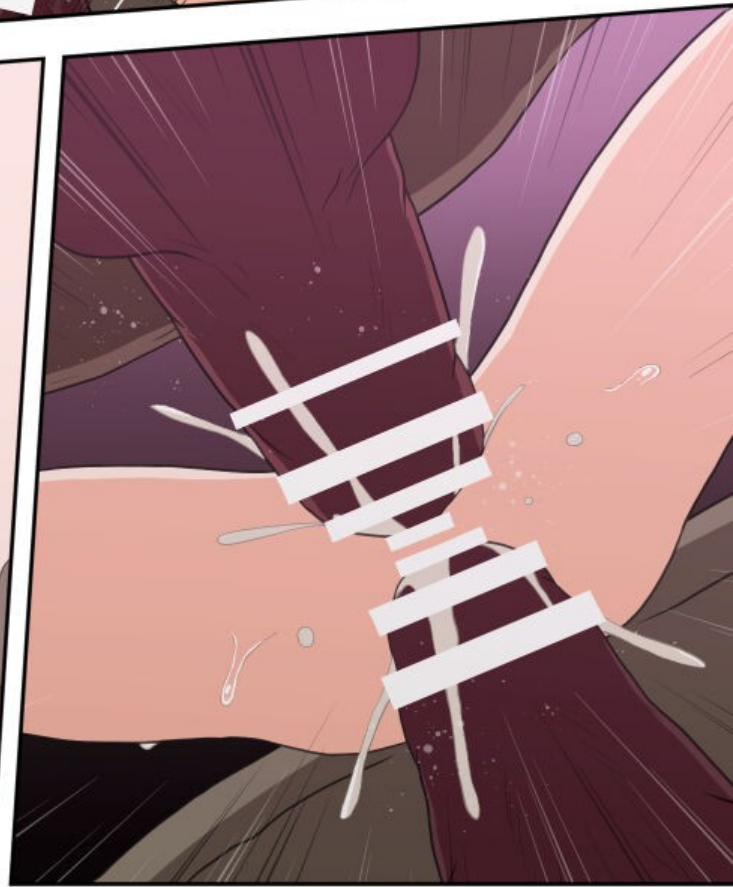


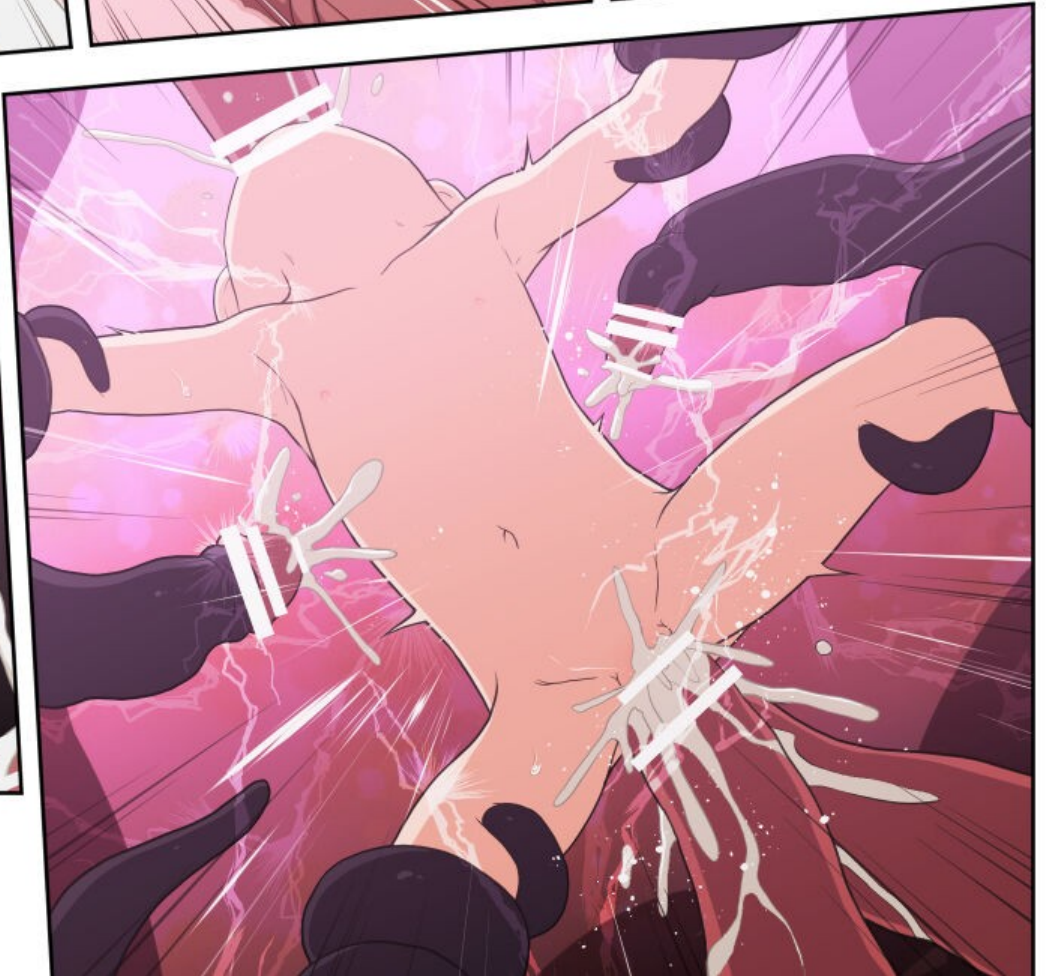
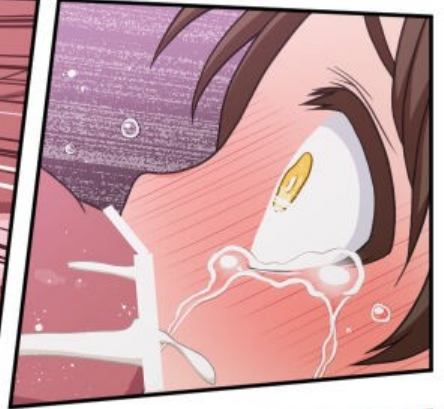
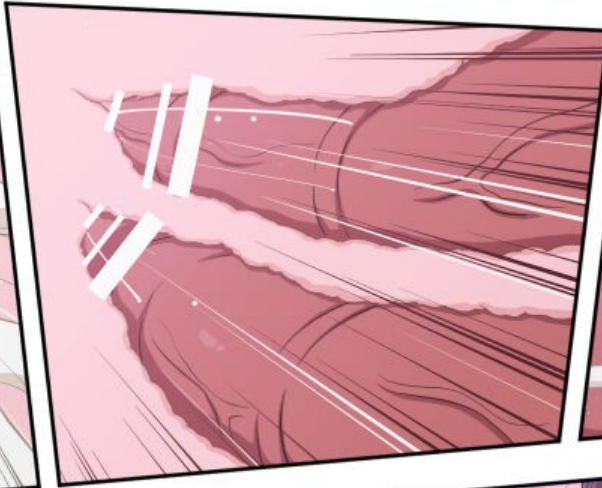
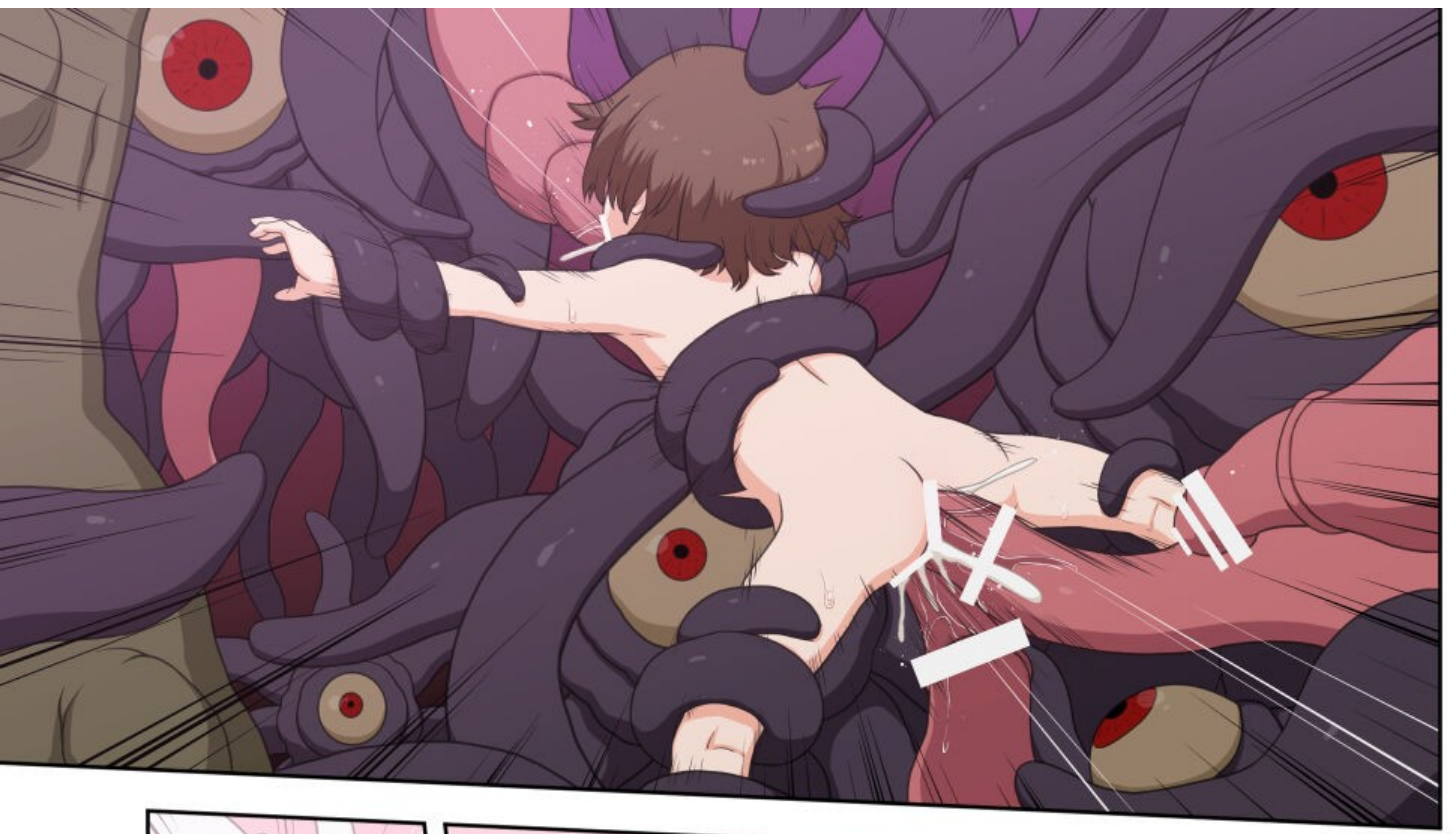


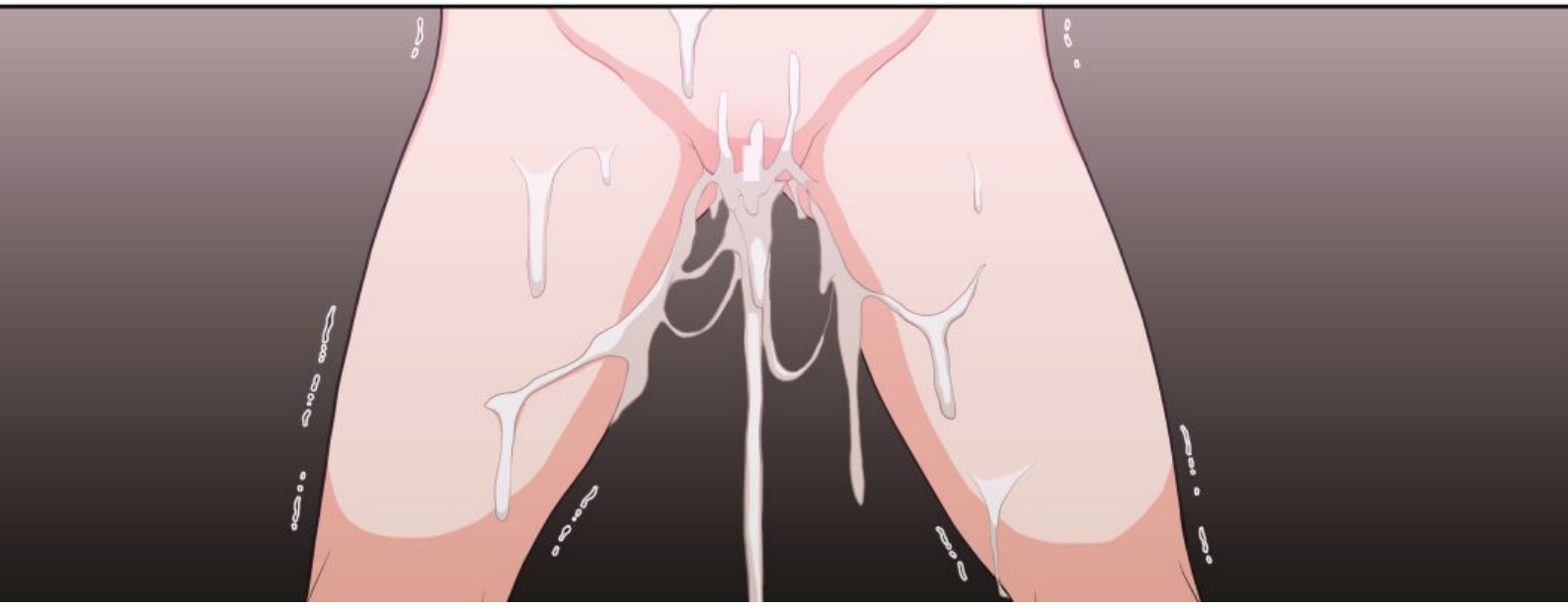








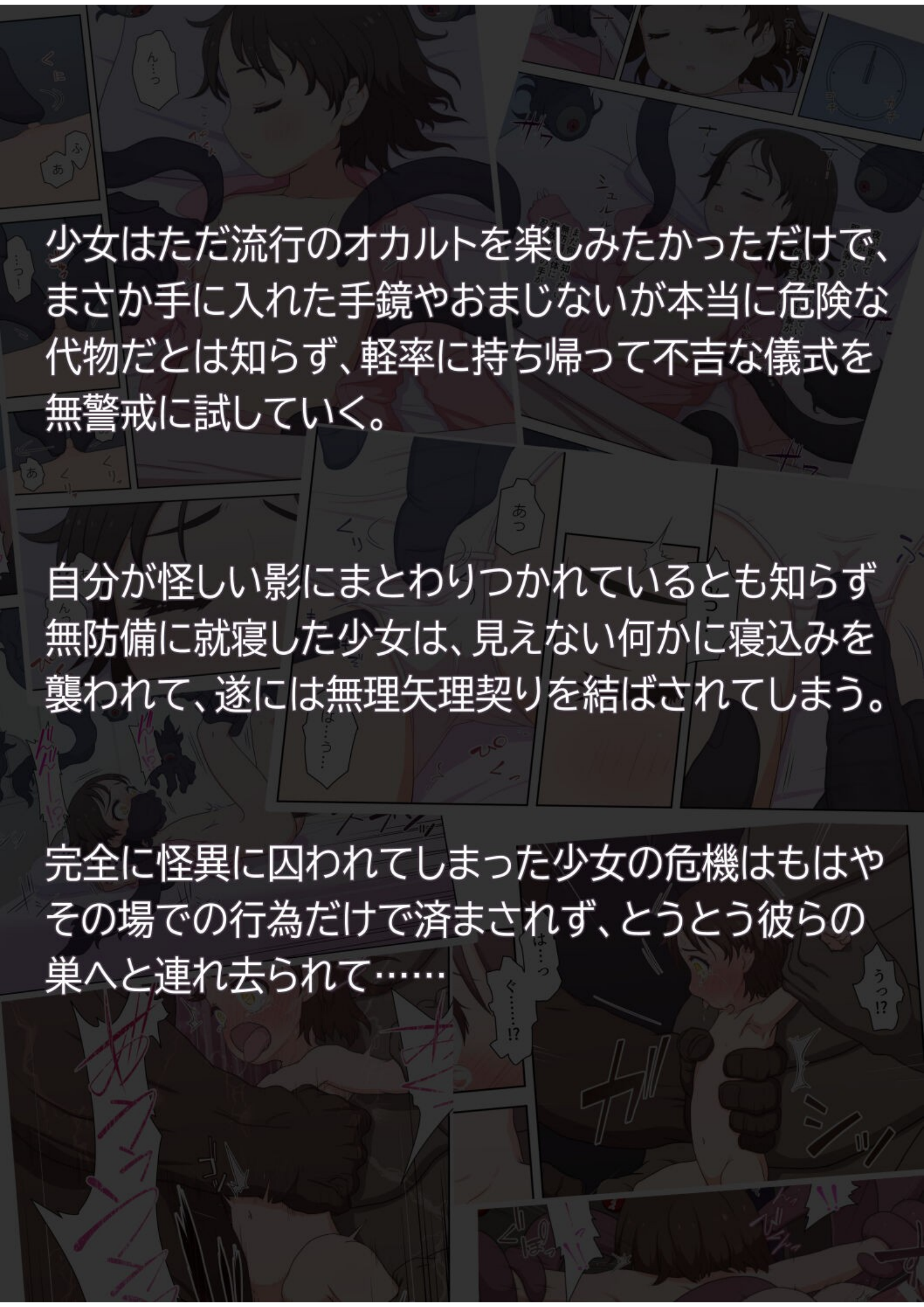




鏡の怪異に囚われた少女

作者：偽もの (<http://pixiv.me/mbby>)

製作年：2022年



少女はただ流行のオカルトを楽しみたかっただけで、まさか手に入れた手鏡やおまじないが本当に危険な代物だとは知らず、軽率に持ち帰って不吉な儀式を無警戒に試していく。

自分が怪しい影にまとりつかれているとも知らず無防備に就寝した少女は、見えない何かに寝込みを襲われて、遂には無理矢理契りを結ばされてしまう。

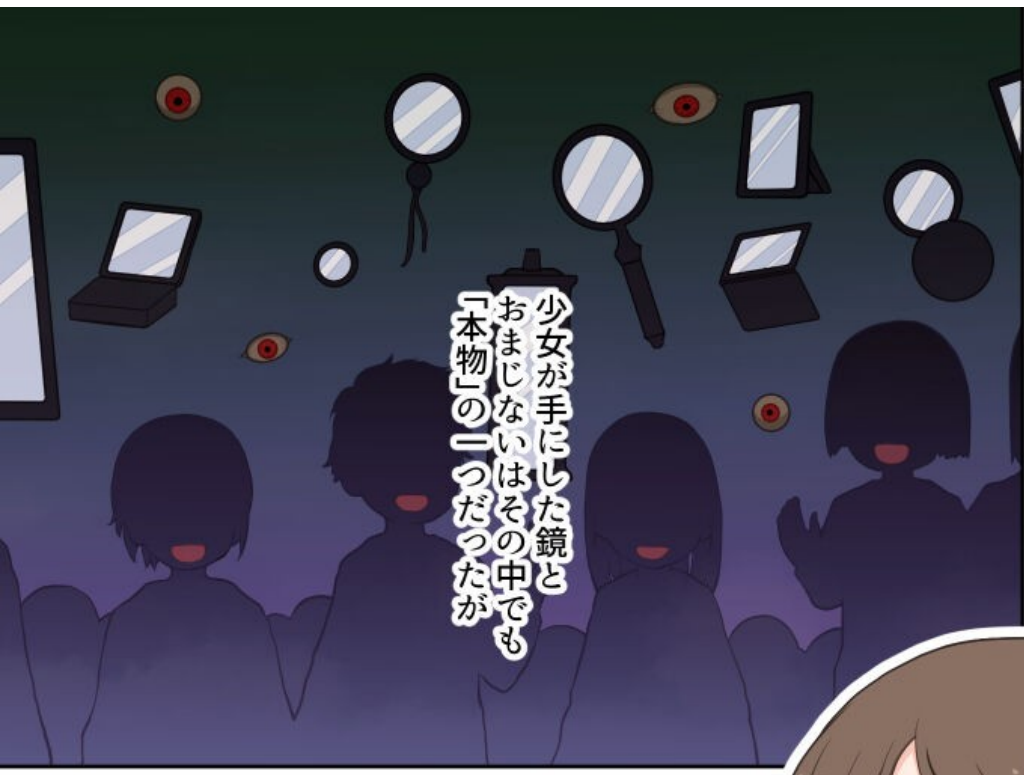
完全に怪異に囚われてしまった少女の危機はもはやその場での行為だけで済まされず、とうとう彼らの巣へと連れ去られて……

鏡の怪異に 囚われた少女

◆睡眠中に悪戯、挿入で目覚め、中出し、
更には怪異の巣へと連れ去られて……

R18
ADULT ONLY

作:偽もの



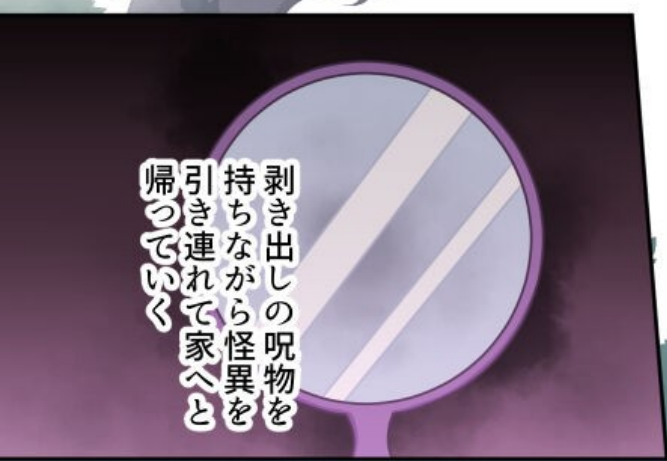
少女が手にした鏡と
おまじないはその中でも
「本物」の二つだったが



その地域では昔から
鏡に関するオカルトが
定期的に流行っていて



ただ単に流行を
楽しんでるだけで
靈感など一切無い
平凡な少女には
その鏡の不吉さも
まとわりつく怪異も
全く見えておらず



剥き出しの呪物を
持ちながら怪異を
引き連れて家へと
帰っていく





映したら駄目
なんだっけ…？

あれ？
自分も
映すん
だっけ…？

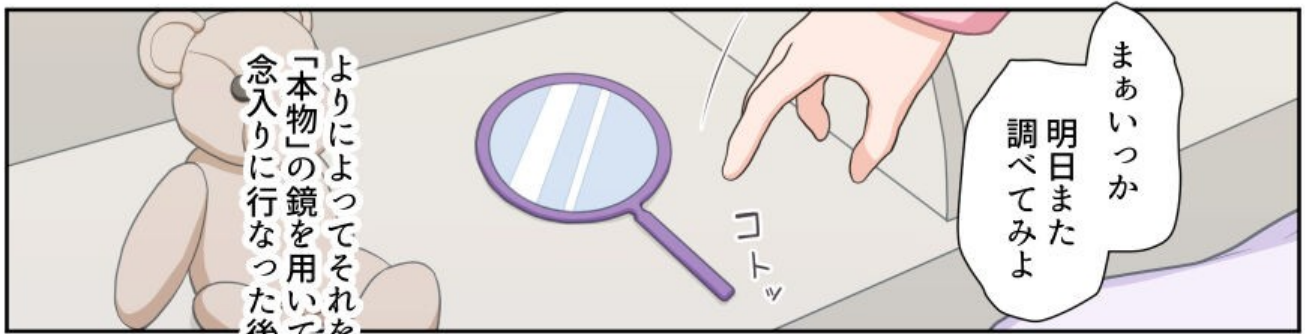
何処で聞いたのか
少女が実行している
儀式的な行為はむしろ
「してはいけない」方の
不吉なものばかりで



流行の内容としては
別の世界が見えるとか
未来の自分が見える等の
よくあるオカルトなのだ

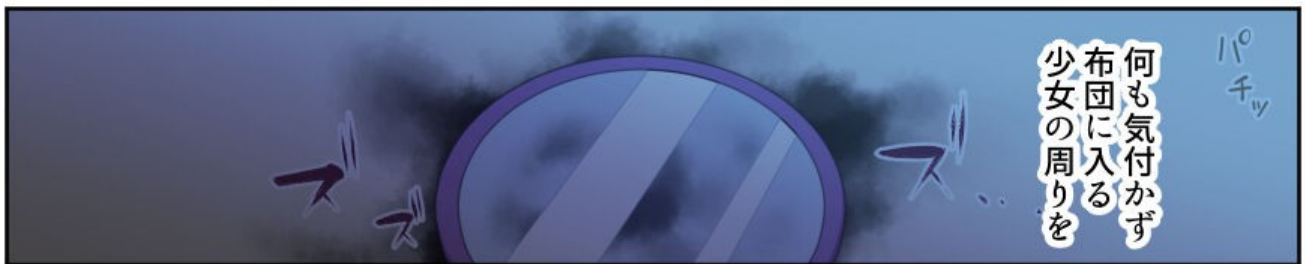


うーん…



まあいつか
明日また
調べてみよ

よりによってそれを
「本物」の鏡を用いて
念入りに行なった後

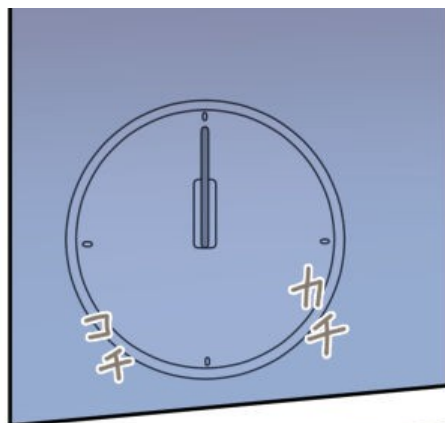
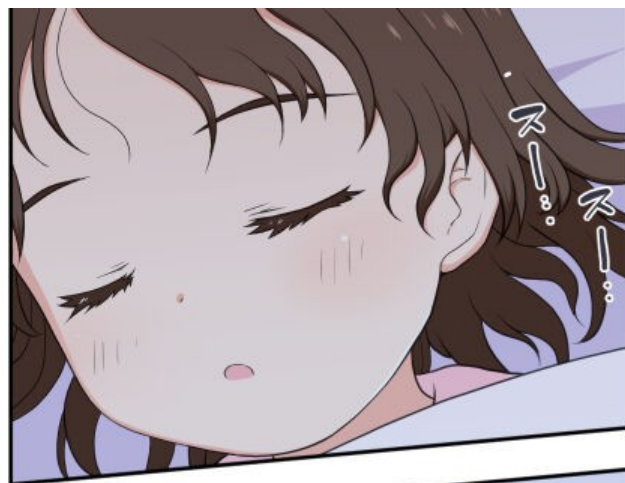


何も気付かず
布団に入る
少女の周りを



おやすみ
なさい…

普通の人間の目には
映ることのない
不穏な影が
取り囲んでいく…

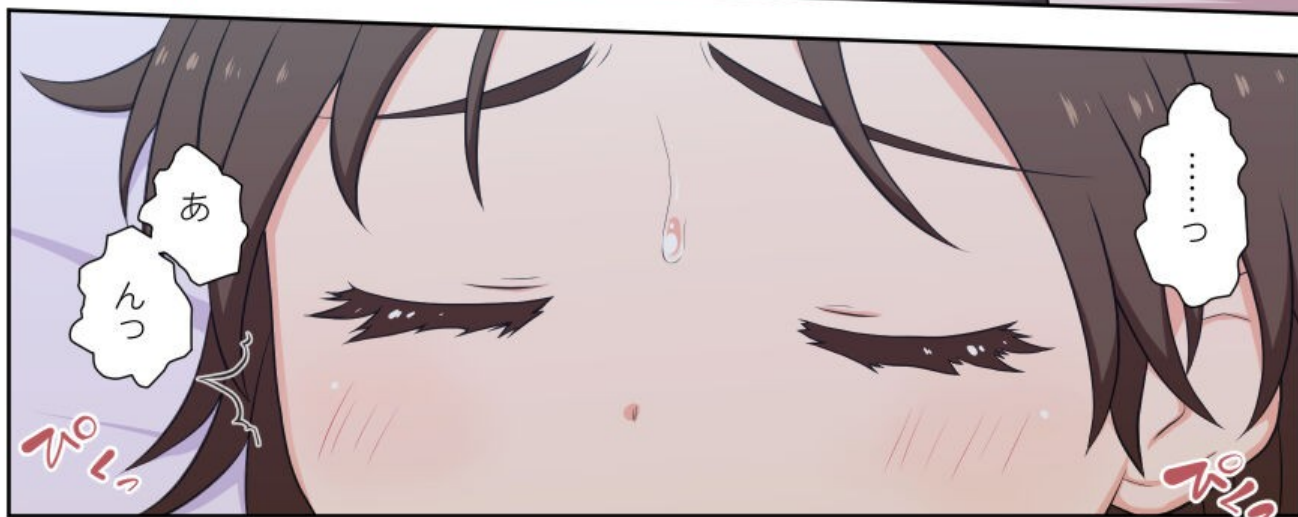
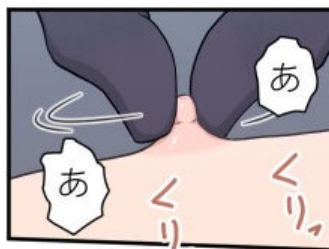


夜が更けて
少女が深く
眠りに落ちると

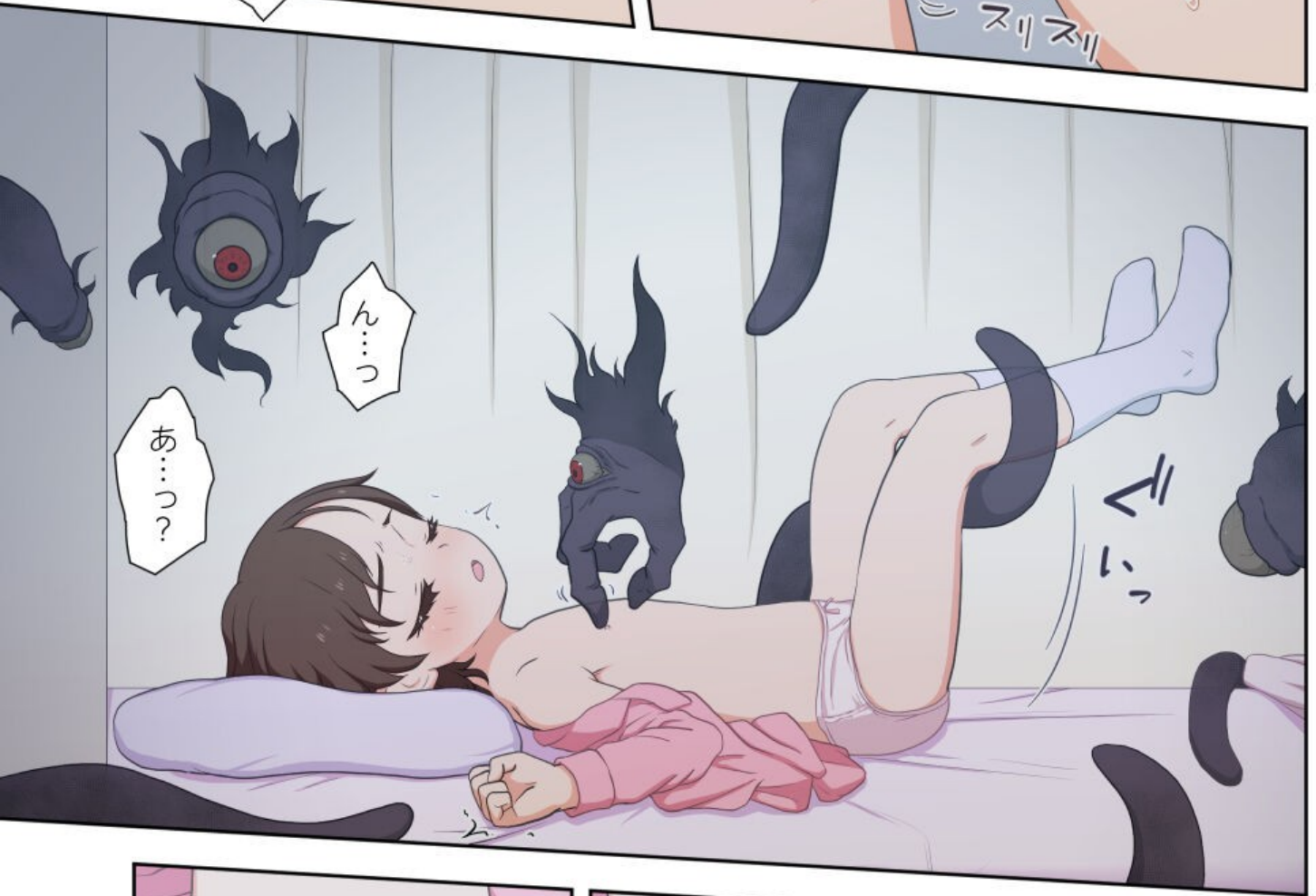
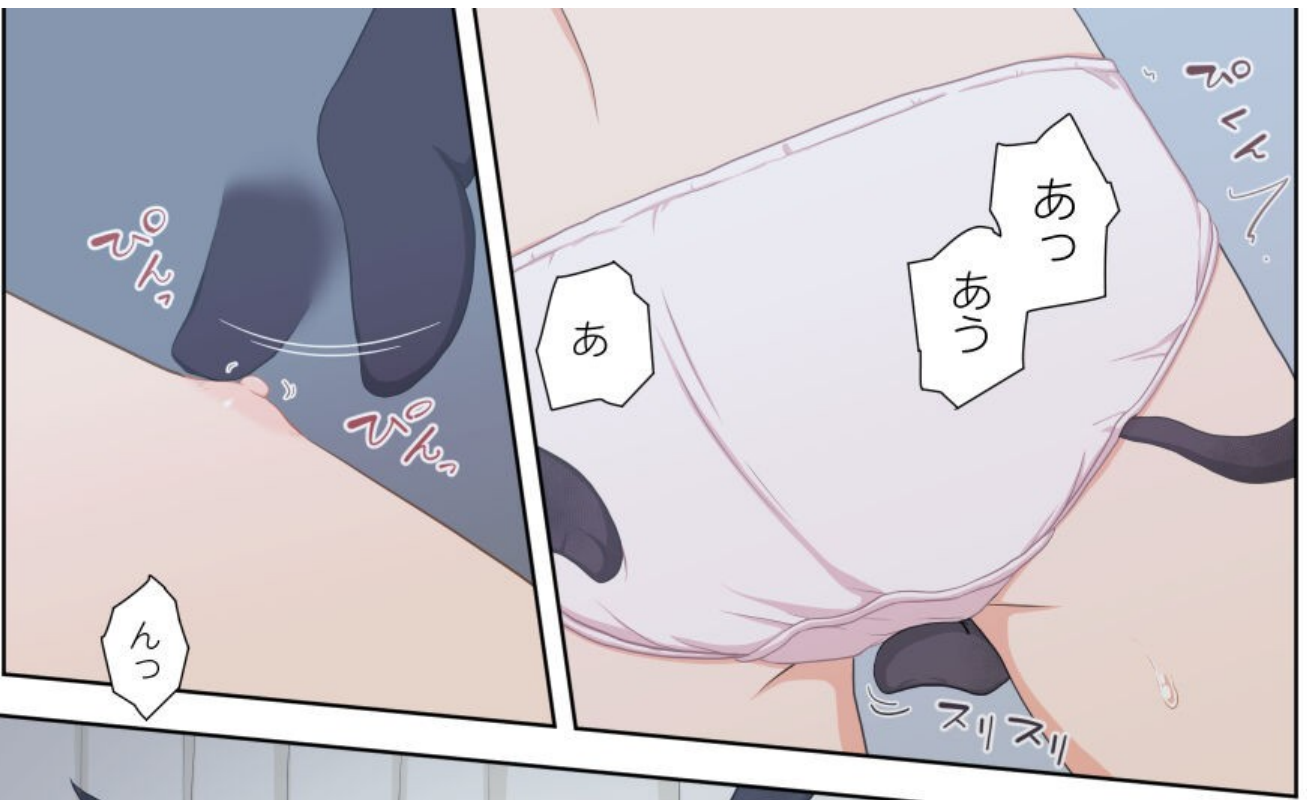
それを待ち構えていた
かのように怪現象が
始まってしまい

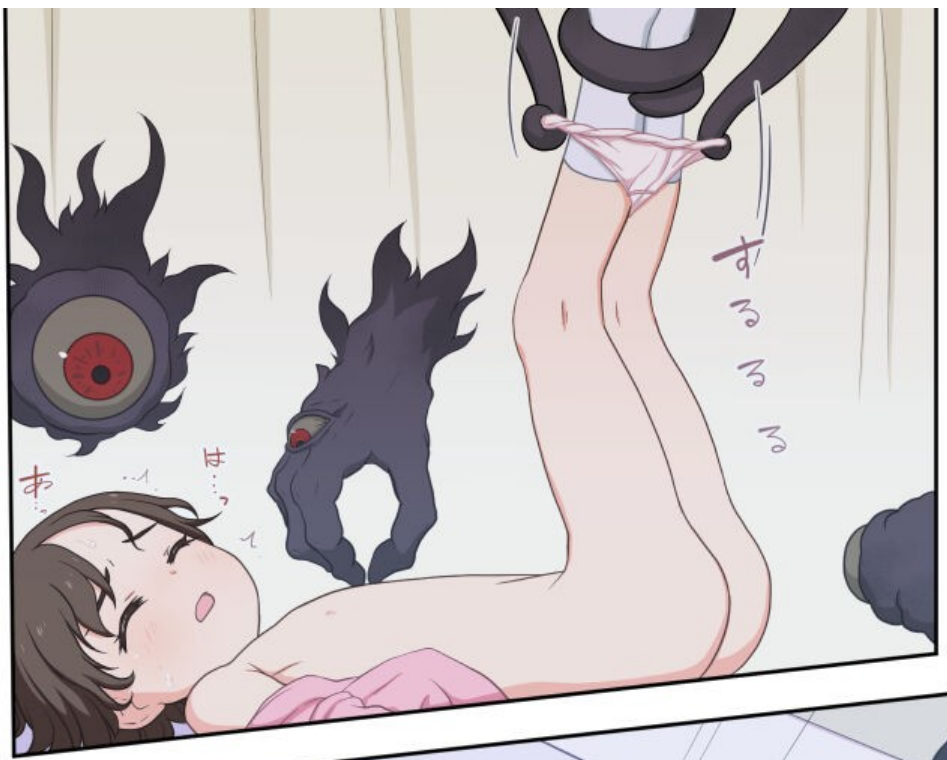
まだ何も知らない
無防備な体に
複数の魔の手が
忍び寄る















……っ!!

んっ…

んあっ!!

あっ!!



あっ……あっ!!

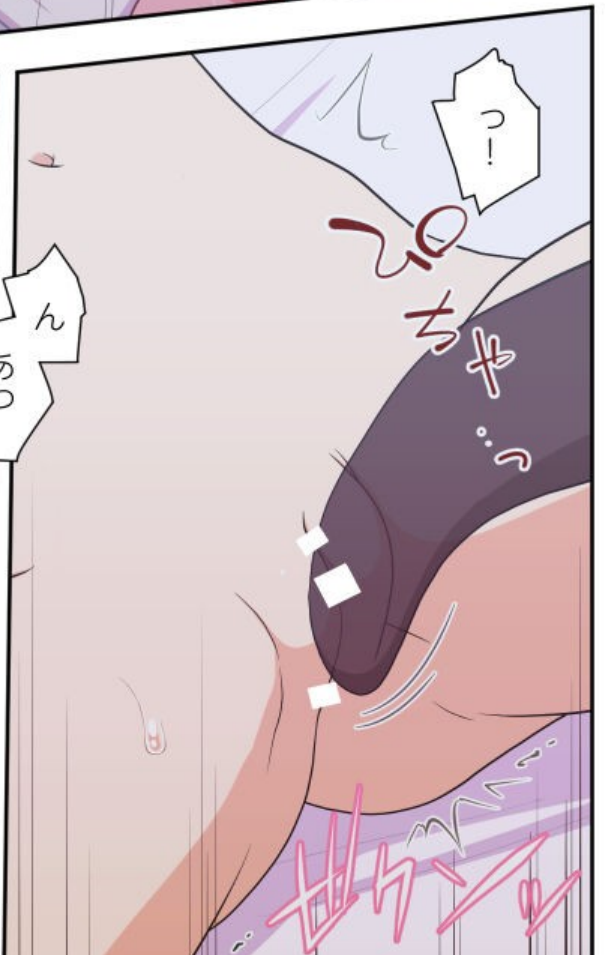
ん

っ…



ん

ん
あっ



っ!

ん

ん



あと僅かにでも
刺激を与えれば
目覚めそうという
タイミングで
愛撫が止まるが

それは中断ではなく
次へと進む準備で

しりり
りゅるっ



ずるっ



まだ何も
知らないまま
眠る少女に

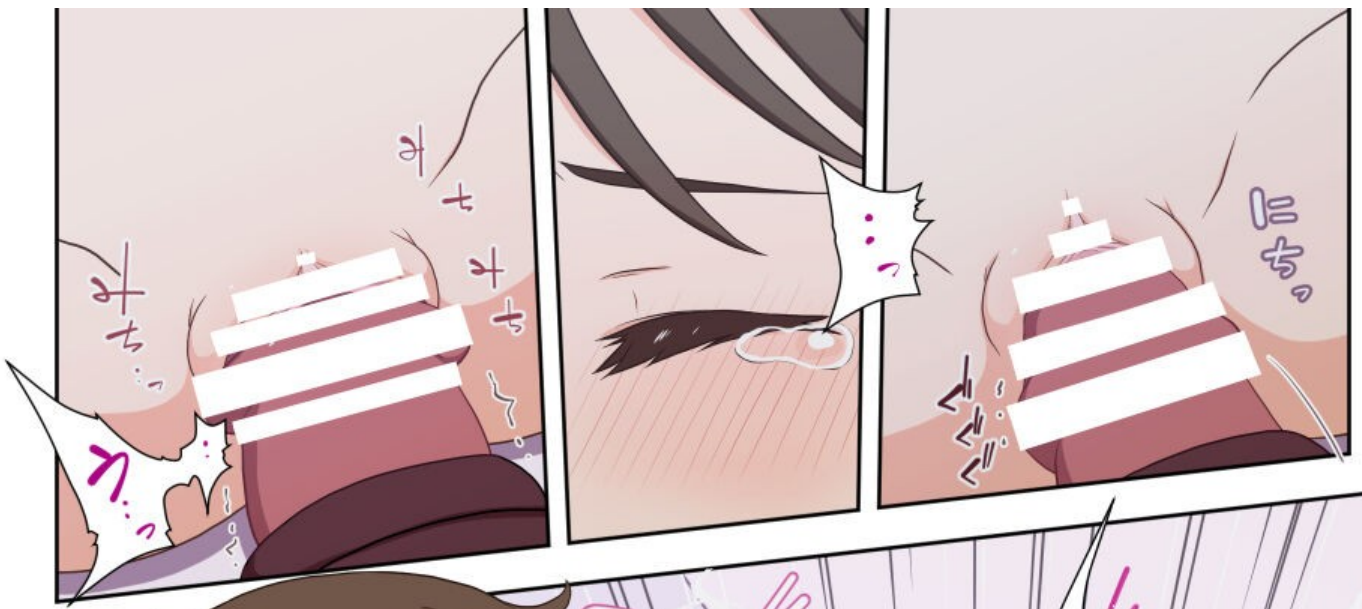
とうとう化け物の
巨大な陰茎が
押し当てられて行く

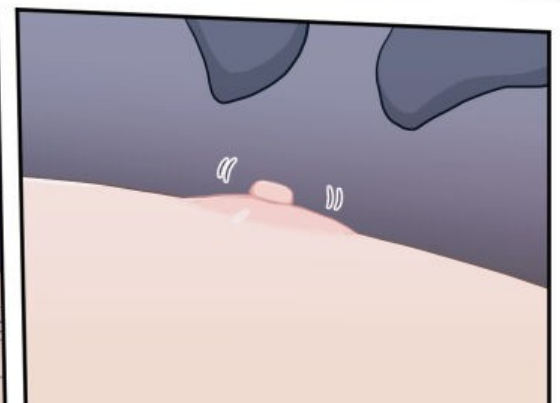
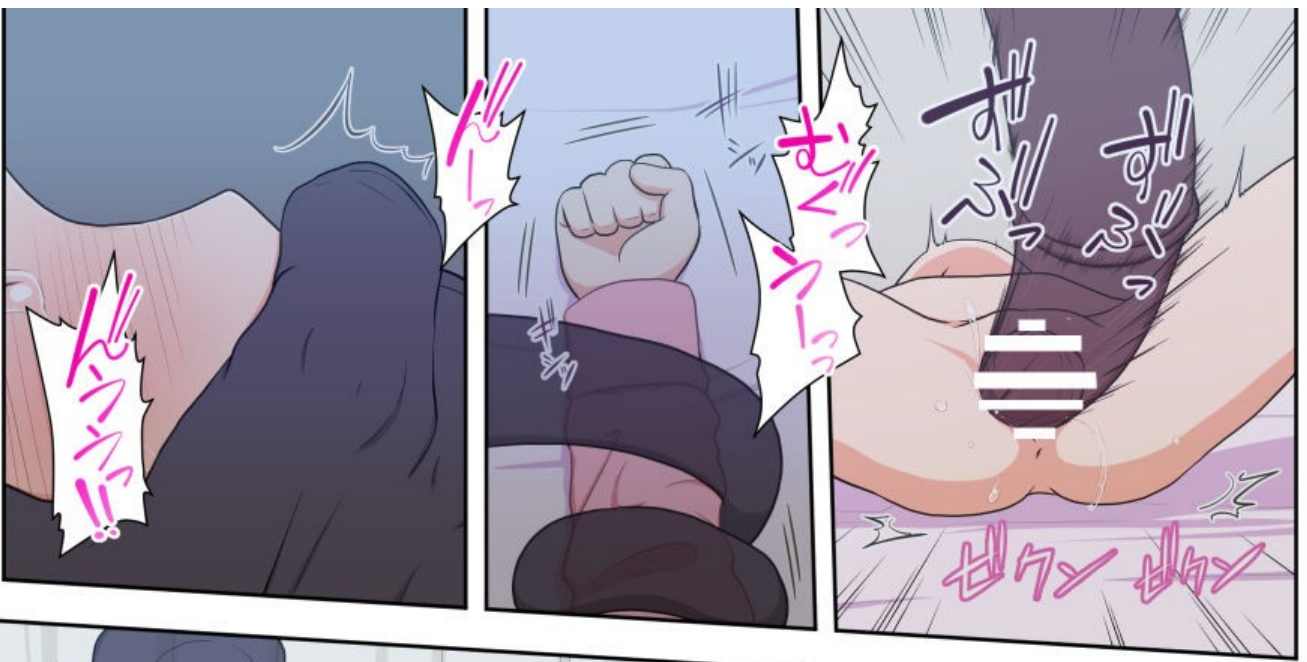
ぬるっ...

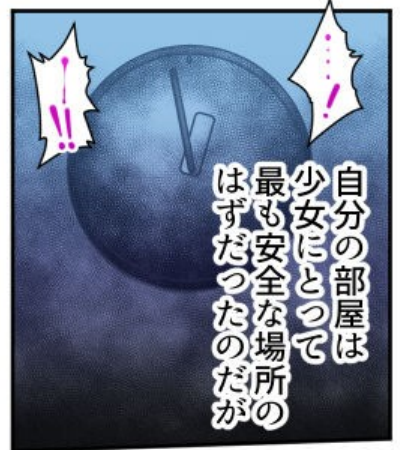


う!?

ん
とろろ







自分の部屋は
少女にとつて
最も安全な場所の
はずだったのだが



影に覆われていく
暗い室内は徐々に
怪異に侵されて
変質し始め



獲物を逃さぬための
黒い閉鎖空間を
形成しつつあり

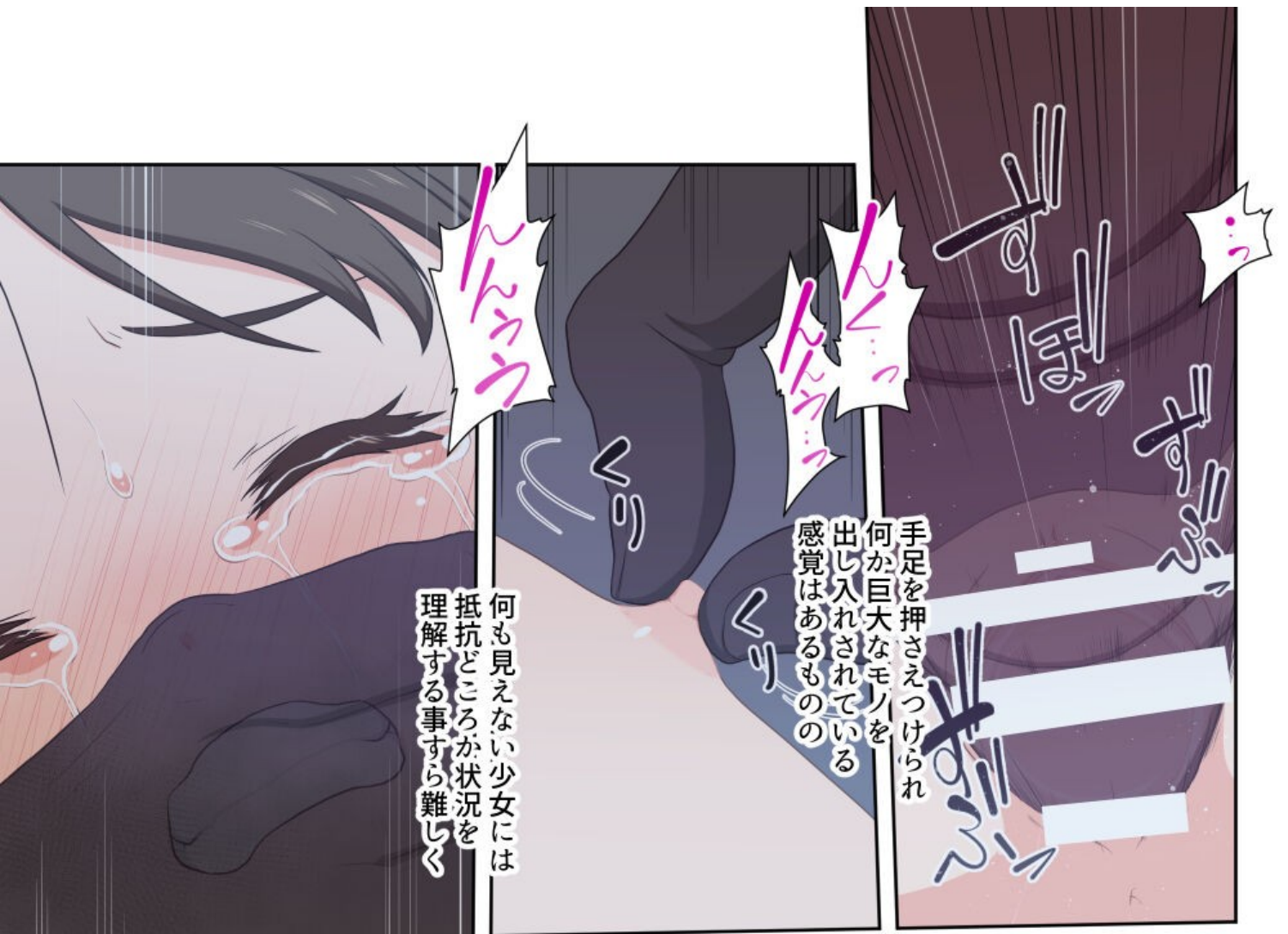


もはや少女の悲鳴が
外に届く事は無く

未知の力で封鎖された
異質な暗闇の中で
助けも呼べぬまま
襲われ続けてしまう



おぼろげな光



何も見えない少女には
抵抗どころか状況を
理解する事すら難しく

手足を押さえつけられ
何か巨大なモノを
出し入れされている
感覚はあるものの



華奢で無防備な体が
化け物達に好き放題
弄ばれていく

行為が進むほど
少女は何かを奪われ
周囲の影の力が増し

最終段階まで近づくと
もはや巨大な化け物に
襲われているような
状態になってしまい

!?



突然大きな手に
掴まれたような
感覚のあと

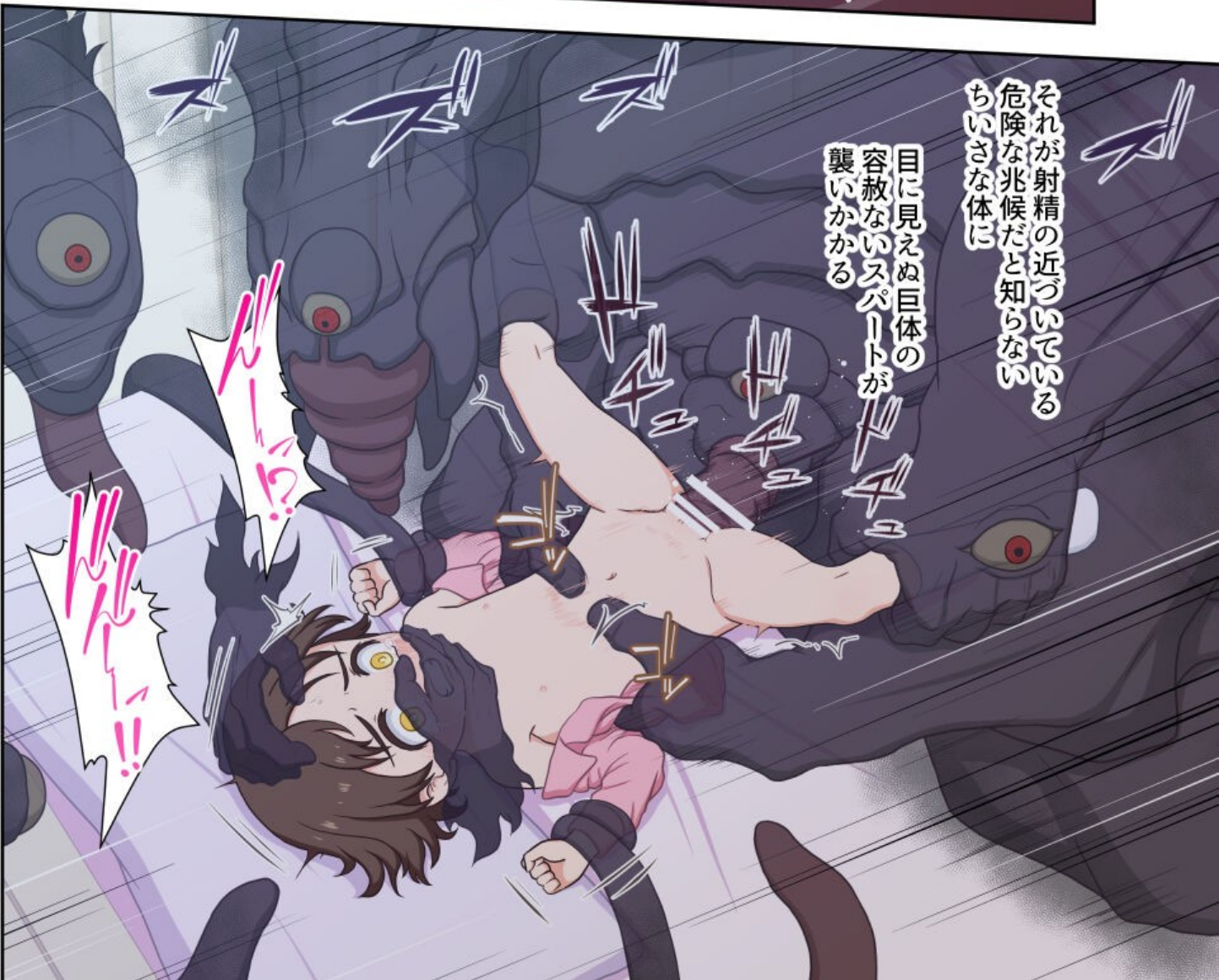
挿入されている
巨大な異物が
更に大きく固く
膨らみ始め

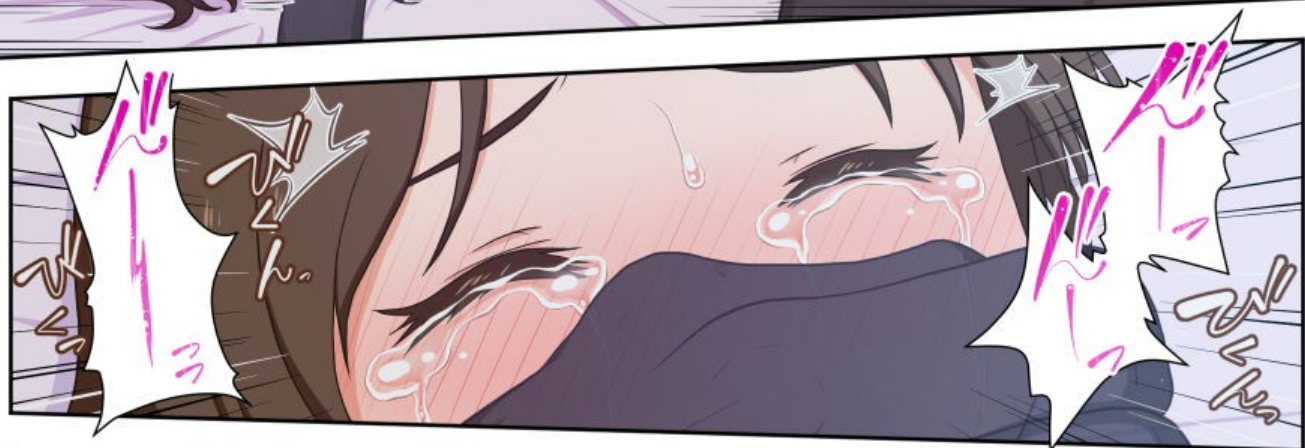
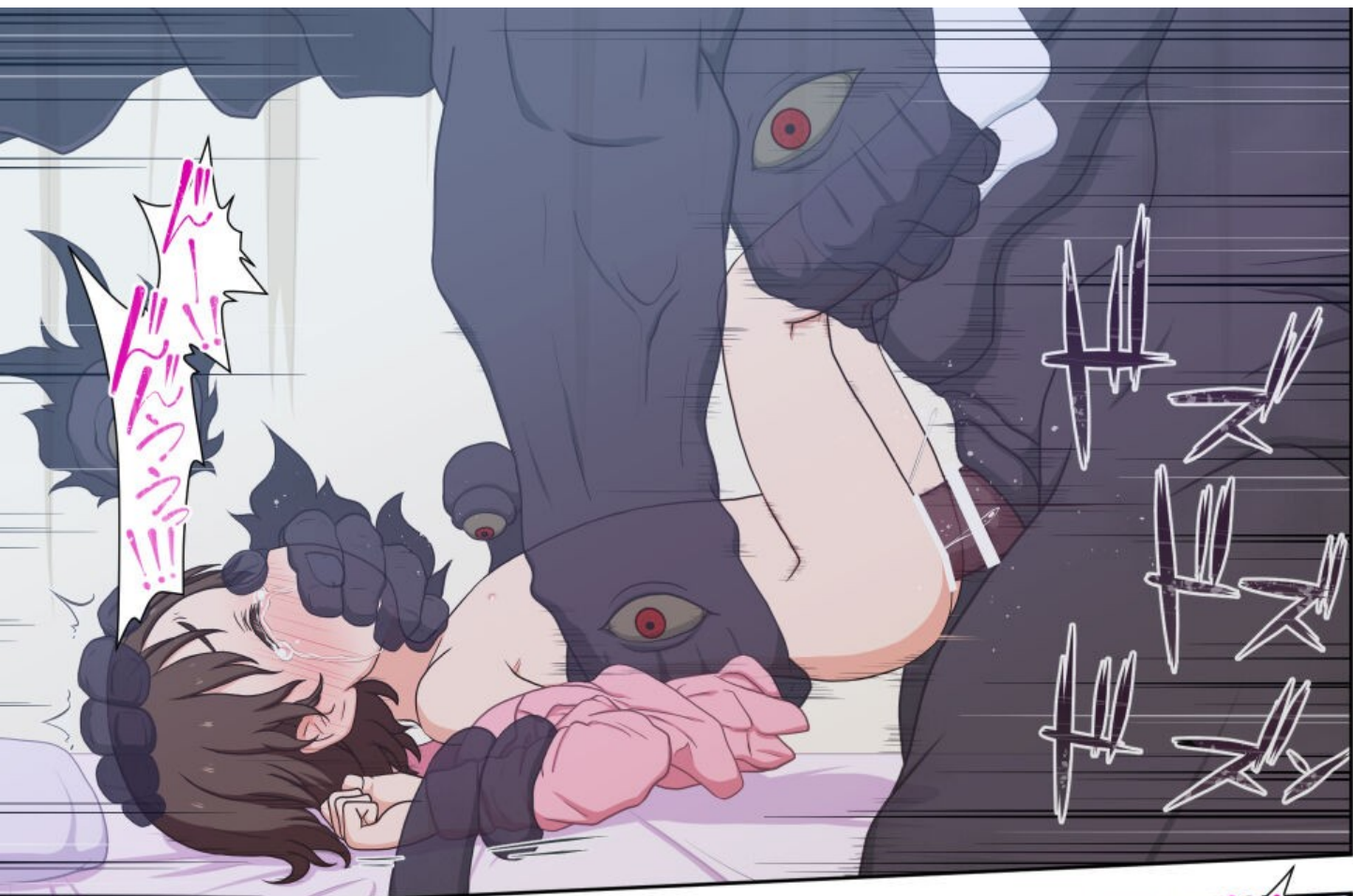
それが射精の近づいている
危険な兆候だと知らない
ちいさな体に

目に見えぬ巨体の
容赦ないスパルトが
襲いかかる

!!!

!!!



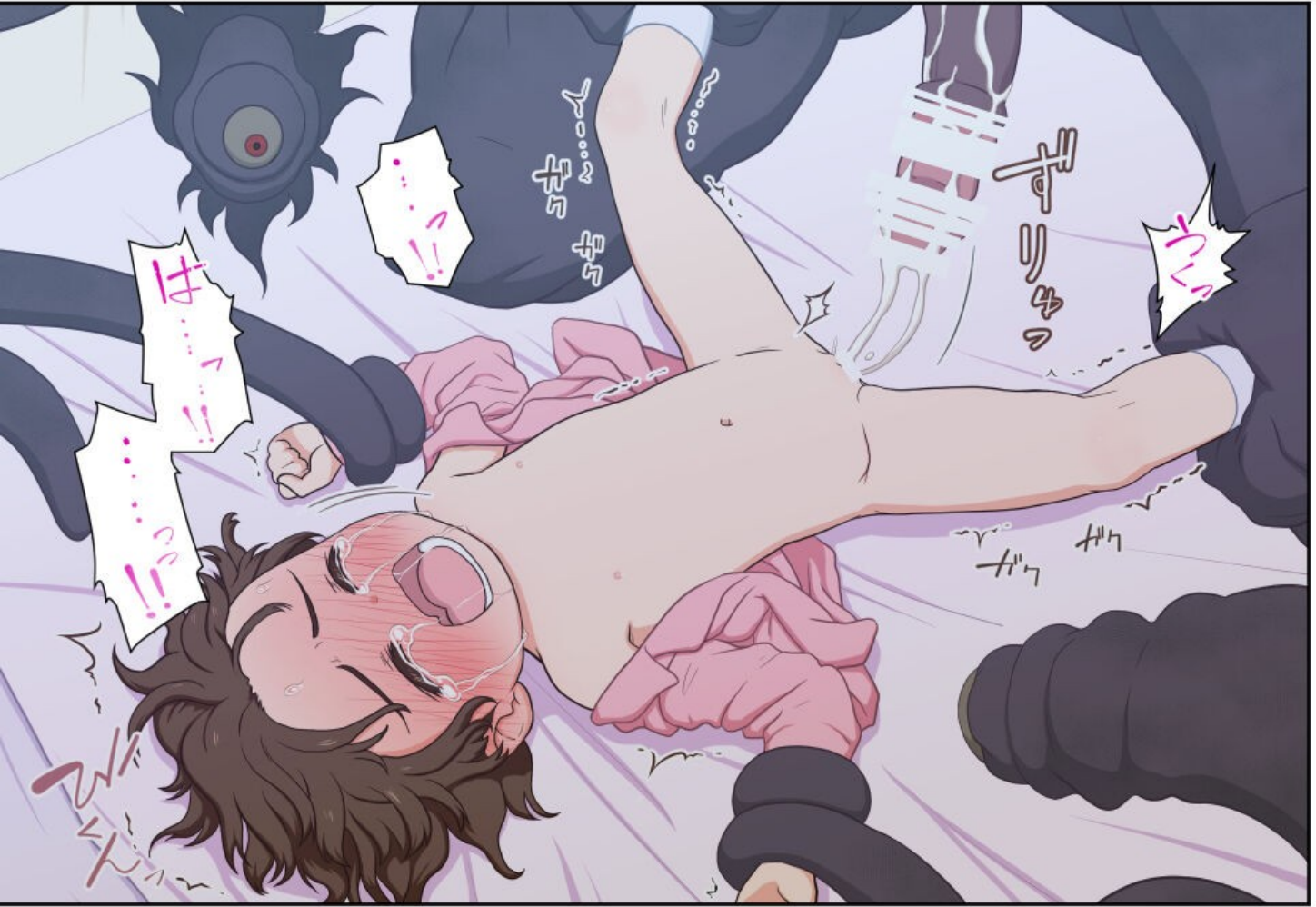


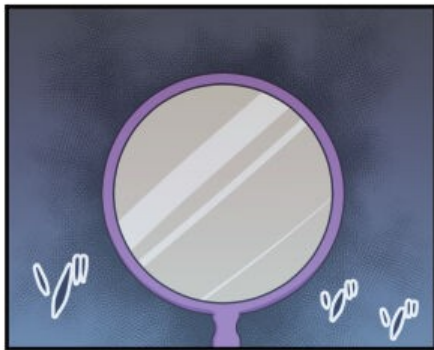


!!!

ああああああ!!!

!!!







手鏡に映る別の自分を見でしまった時点で不吉な儀式が始まり

そこに映る自分と入れ替わるかどうか無言で問われるが

な…え…?
何…?
どうなって…

それはつまり身代わりを置いて彼らの棲む異世界に
来いという危険な要求で



当然何も知らない少女に回避出来るようなものでは無く

えっ…え!?
やっ
誰か…!

遂に小さな獲物は完全に怪異に囚われ



彼らの巣へと連れ去られていく

や…っ
…っ
…!!



契約が成立すれば彼らの世界へと誘拐される事になるが

魔物や怪異の契約はその大半が正しく断らねば強引に結ばれてしまう悪質な代物だらけで

あっ!?

カッパ



あ…れ………？

翌朝、日常の世界に
目覚めた少女には
何の異変も無く



ん……



次の子に
渡さなきゃ…

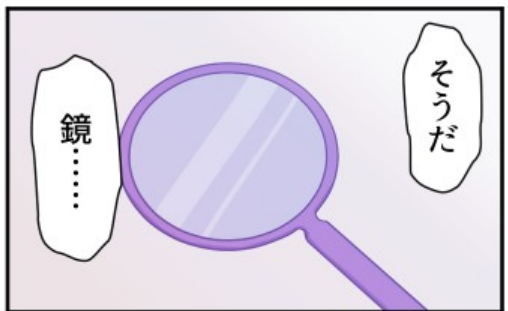
そう…次…

怪しい鏡もまた
別の誰かへと渡り
記憶から消えていく



なんだっけ…
…私……

夢……



鏡……

そうだ



もつともそれは
元の少女と
切り離された
新たな日常で



鏡の中の自分と
すり替えられた様な
怪現象によつて

元の少女は脱出方法も
分からぬ状態で暗い
異界に閉じ込められ



怪しい影の蠢く
闇の奥深くへと
さらわれていく



暗闇の奥底は
怪異の本体である
巨大な化け物達の
本拠地で

通常であれば
近づく事も出来ない
危険地帯であり





誰の助けも届かない
化け物の巣の中まで
連れ去られてしまった
不運な少女は

その小さな体を犯そうと
周辺三帯から群がってくる
無数の巨体に取り囲まれて
衣類を剥ぎ取られていき

全裸の無防備な女の子が
たった一人で化け物の
大群に襲われる絶望的な
輪姦が始まってしまふ



や...っ!



や
やだっ

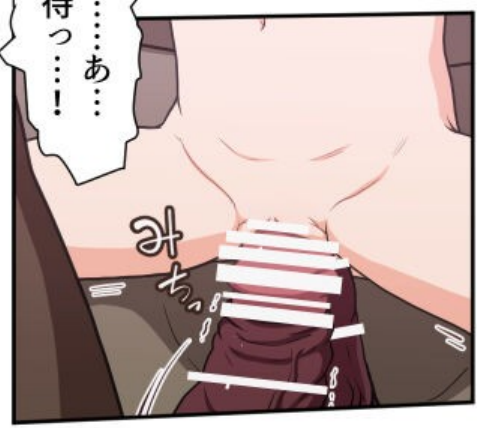


っ!?





は...っ
ぐ...!!?



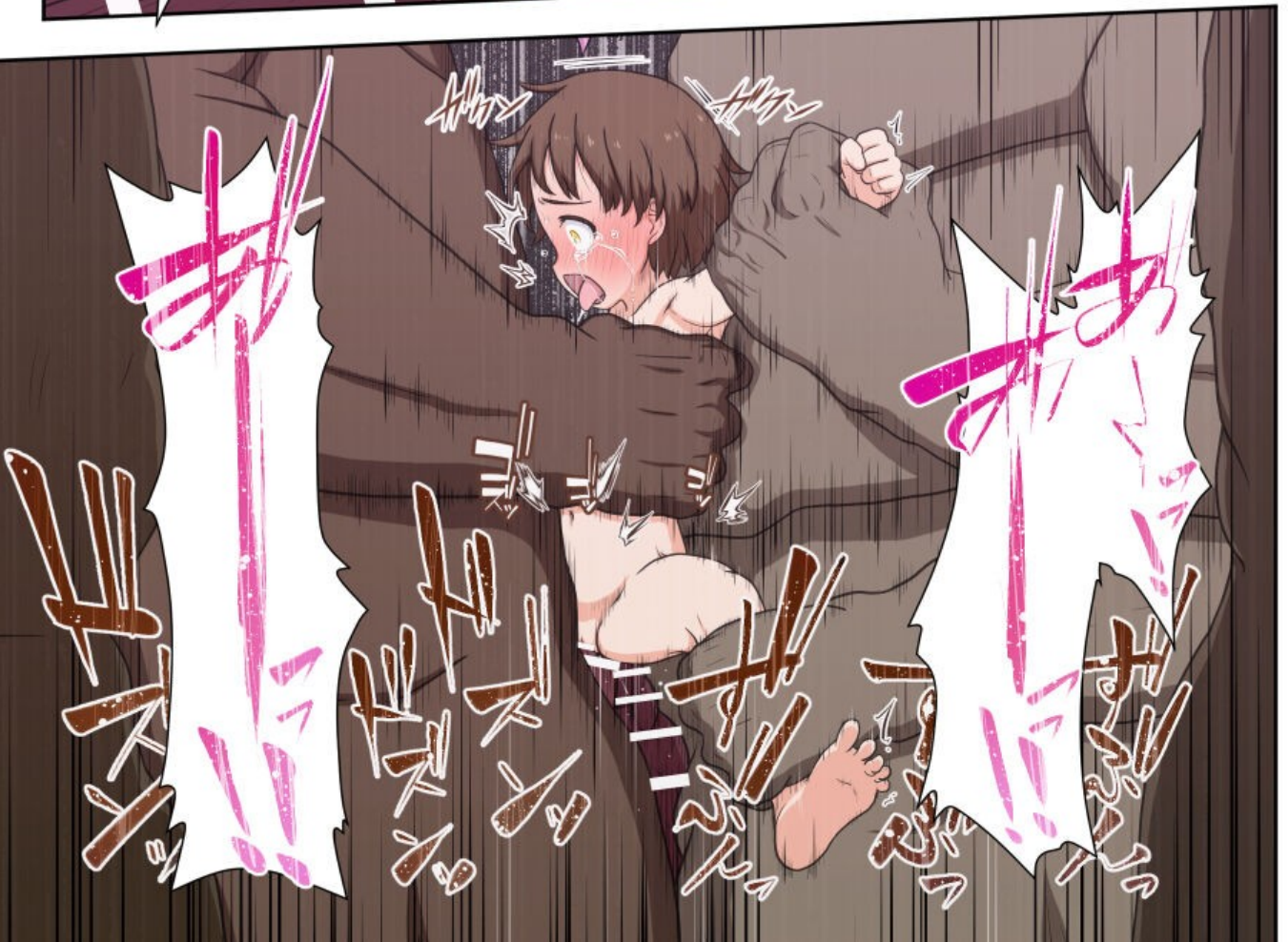
あ...あ...
...待つ...!!

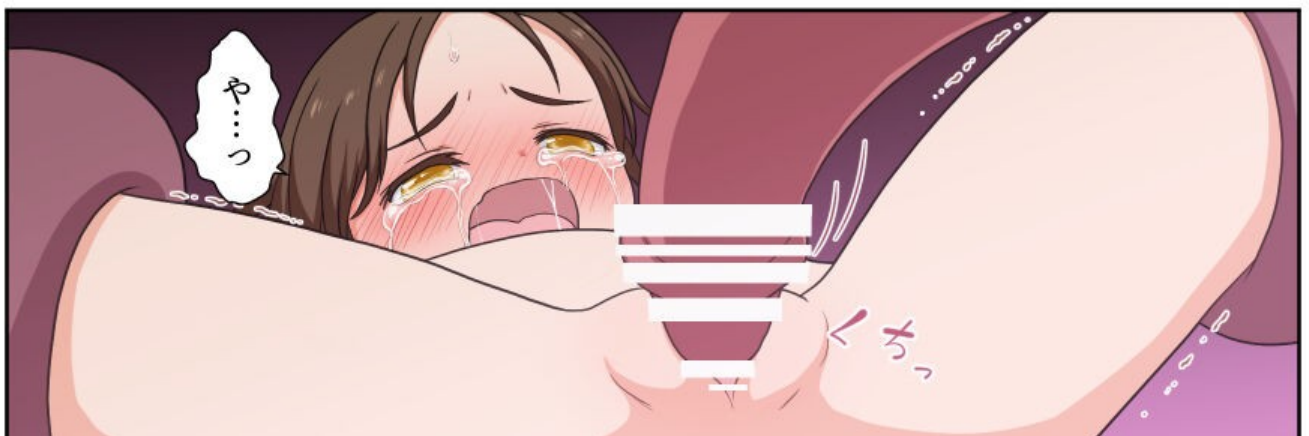


うっ!!?



あ...あ...
...待つ...!!









あ……

あまりのことに
体から力が抜けて
僅かな抵抗すらも
出来なくなっていく



あ……っ ……っ ……っ

それが複数の巨大な
化け物から同時に
連続で行われるなど
理解を遥かに超えており

まだ性の知識も無い
少女にとつては
陰茎の挿入だけでも
衝撃的な出来事で



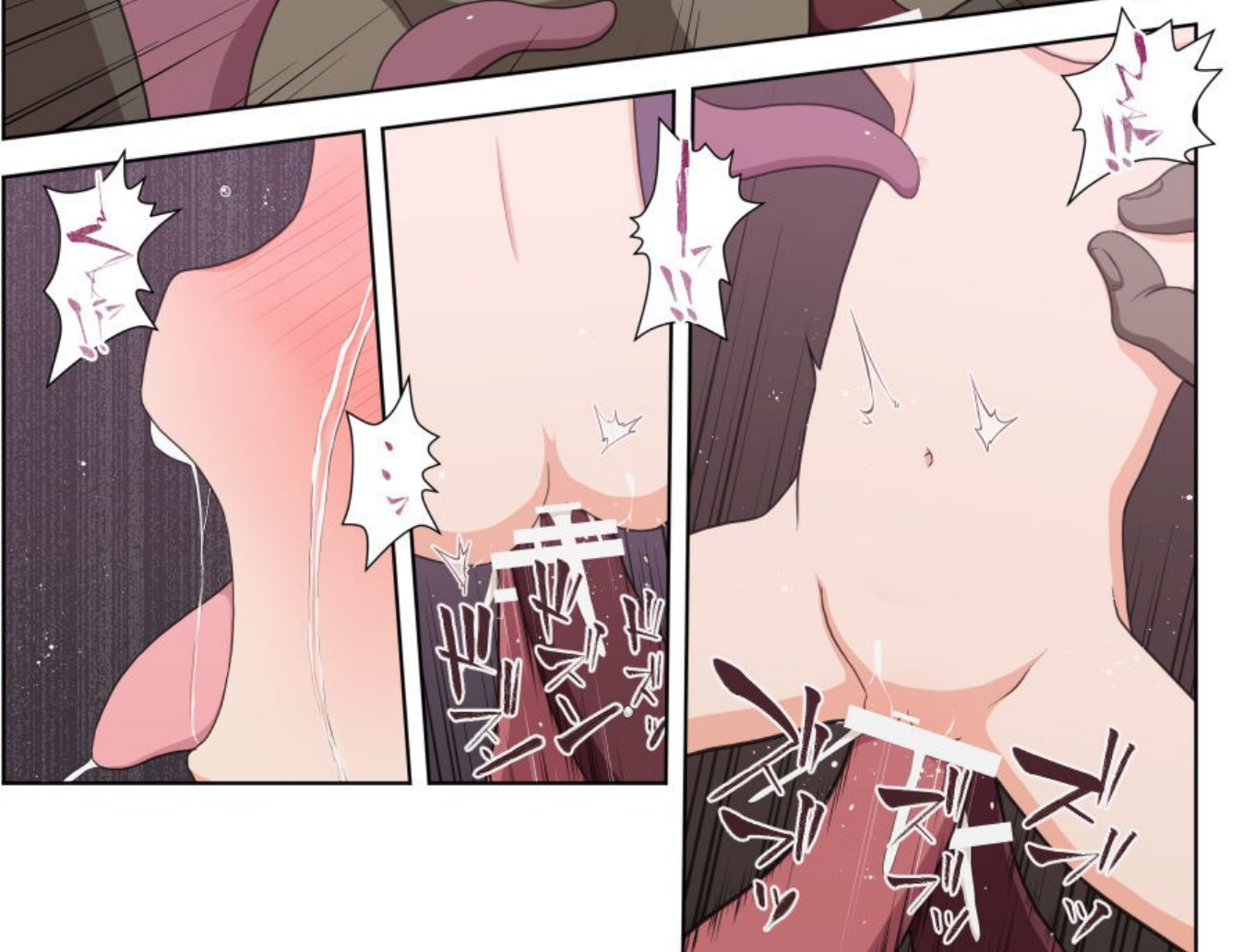
も……
……や……め……

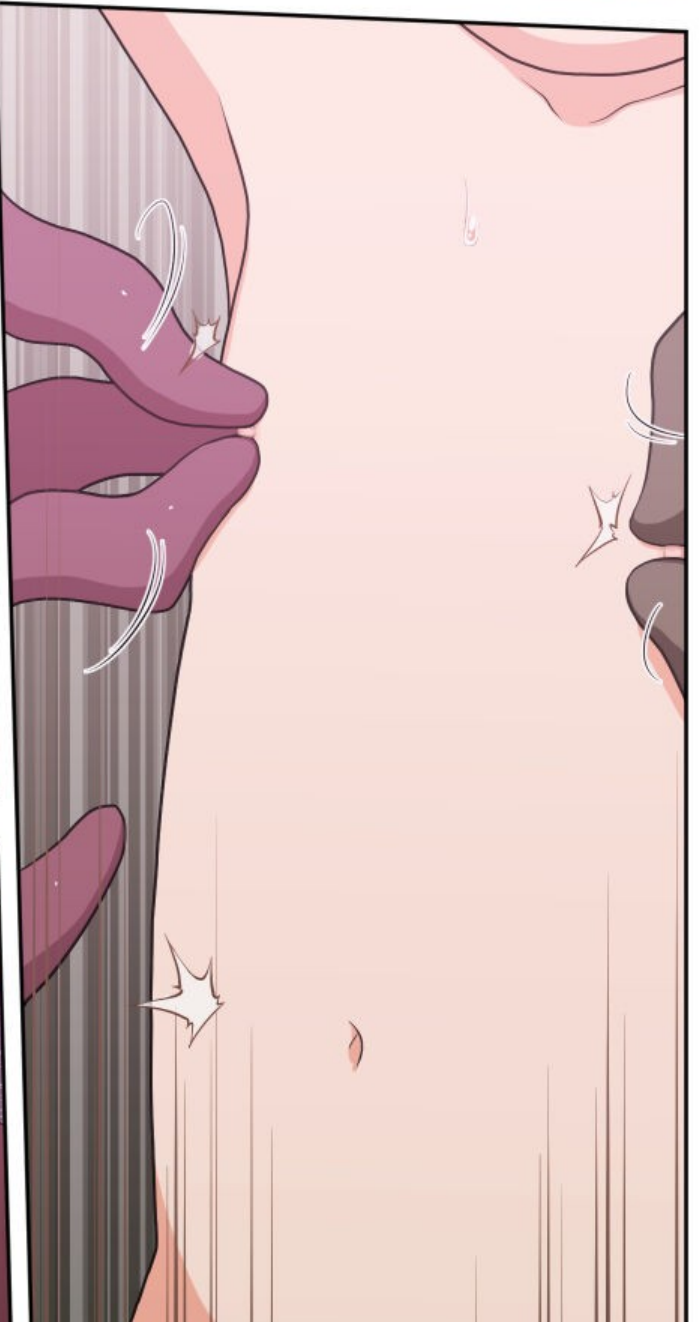
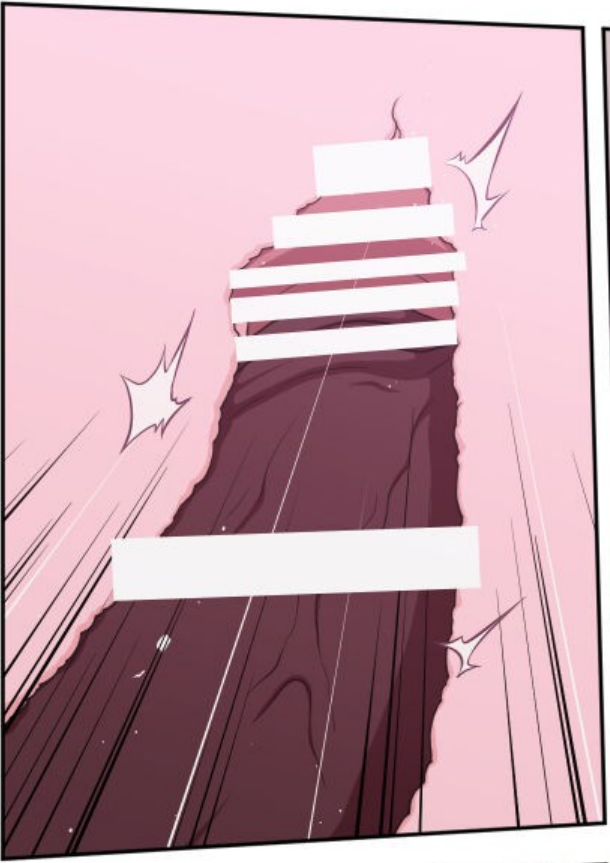
しかし化け物の巢で
孤立する少女の危機は
まだまだ始まった
ばかりに過ぎず

抵抗する力を失えば
更に二方的に
襲われ続けるだけで
状況は一向に改善せず

様子見をしていた
別の集団も続々と集まり
二層危険度を増していく
大規模な群れの中で

小さく無力な体が
更に過酷な
凌辱の連鎖に
飲み込まれていく

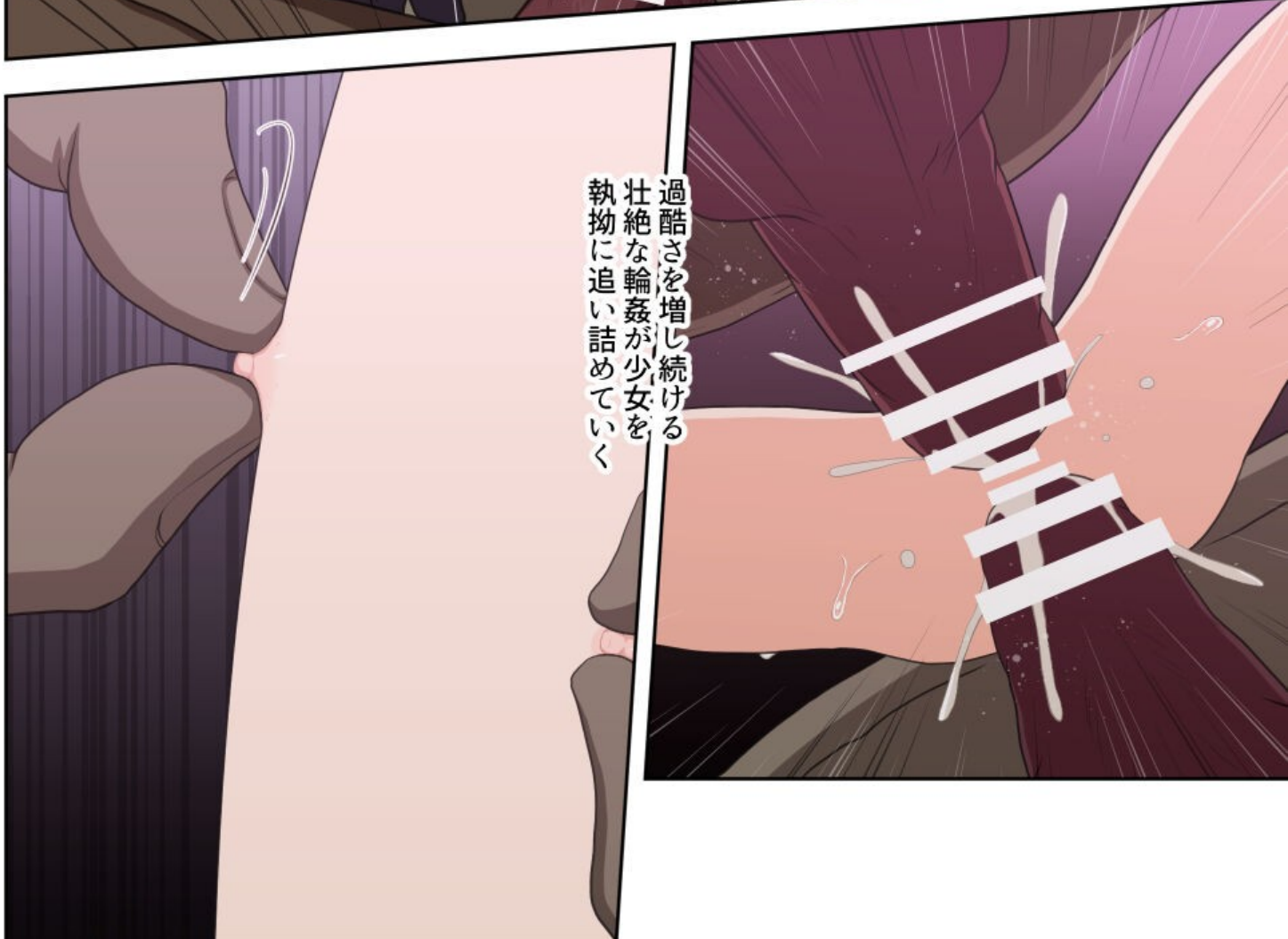






ただでさえ体格差のある
巨体に複数体がかりで
犯されて耐えられる
わけも無いのだが

少女が泣き叫び悶える程
それに興奮した化け物達から
一層激しく犯されてしま



過酷さを増し続ける
壮絶な輪姦が少女を
執拗に追い詰めていく



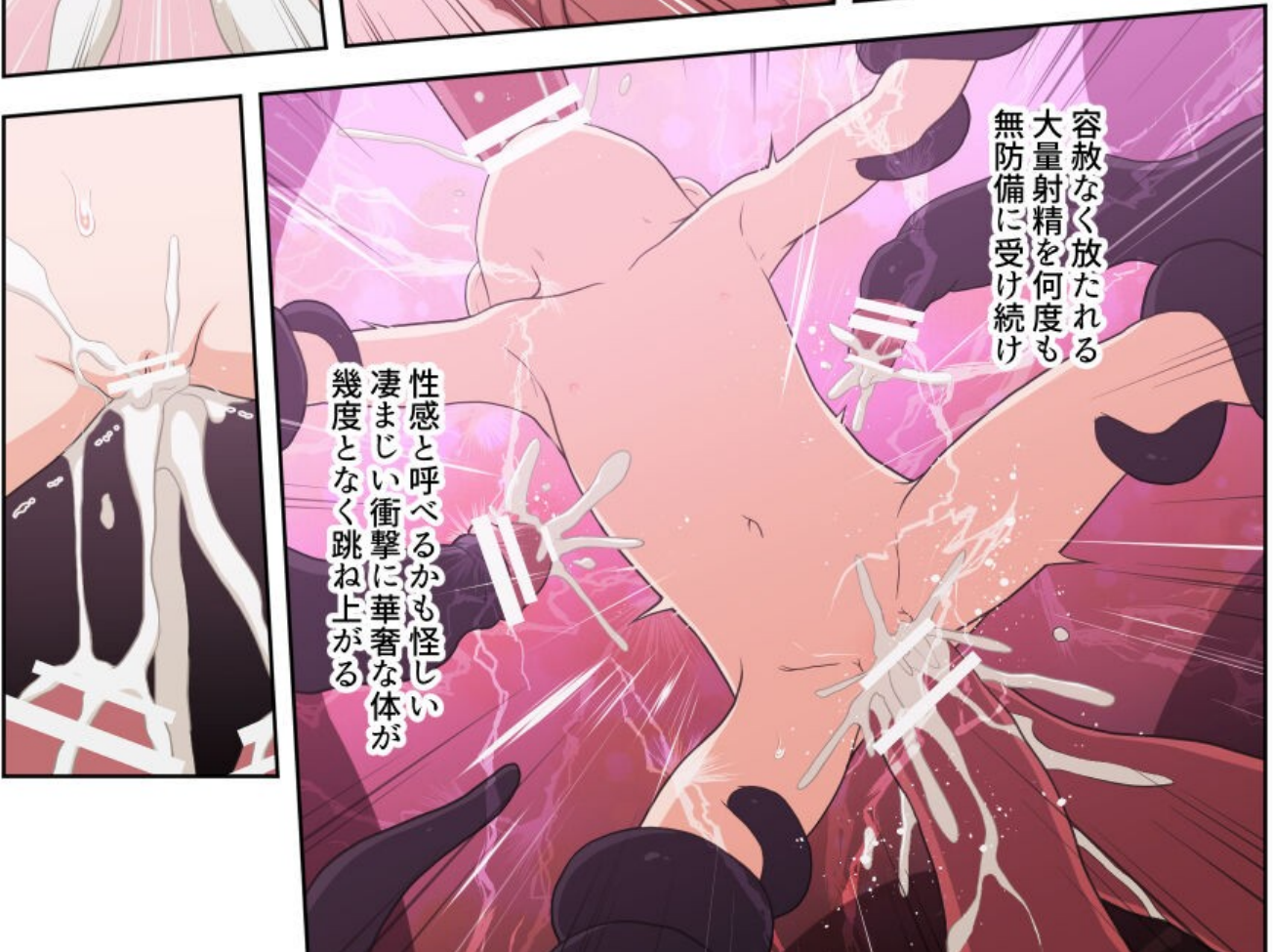
抵抗する力を奪う為か
彼らの体液には
強烈な催淫効果が
含まれている事も多く

特に効果が顕著な
触手型の精液など
絶対中出しされては
ならない代物だったが



少女にはそれを
防ぐ手段も

効果への特別な
抵抗力なども
全く無く



容赦なく放たれる
大量射精を何度も
無防備に受け続け

性感と呼べるかも怪しい
凄まじい衝撃に華奢な体が
幾度となく跳ね上がる

悪夢のような輪姦は
全く収まる気配が無く

今の少女自身もまた
夢の住人のような状態で
そこから抜け出す
手段も分からず

どこにも逃げ場の無い
異界の奥底で少女は
誰にも知られず
犯され続けていく



どろどろの下半身は
既に相当な数の群れに
犯されたことを
物語っていたが

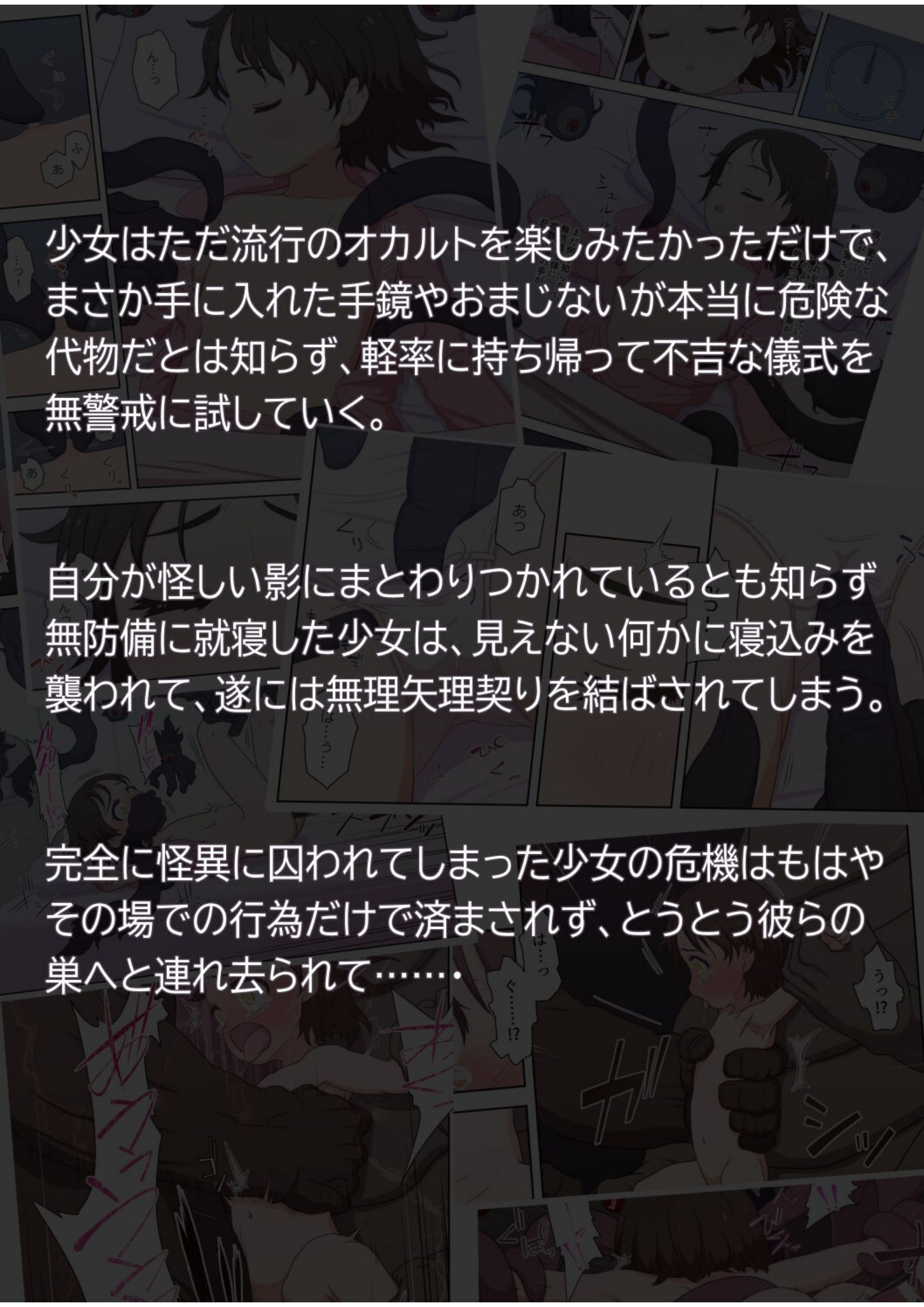
少女に群がる巨体は
むしろ増えるばかりで
一向に終わりが見えず

化け物の巢穴奥深くから
誰にも届くことのない
儂い悲鳴がいつまでも
響き続けていた……

鏡の怪異に囚われた少女

作者：偽もの (<http://pixiv.me/mbby>)

製作年：2022年

A collage of anime-style manga panels. The top panels show a girl with dark hair in a red dress looking down, with speech bubbles containing 'ふ', 'あ', and 'ん...'. The middle panels show a shadowy figure with a speech bubble 'あっ'. The bottom panels show a girl in a white dress looking up, with speech bubbles 'うっ!?' and 'ぐ...!?'.

少女はただ流行のオカルトを楽しみたかっただけで、まさか手に入れた手鏡やおまじないが本当に危険な代物だとは知らず、軽率に持ち帰って不吉な儀式を無警戒に試していく。

自分が怪しい影にまとりつかれているとも知らず無防備に就寝した少女は、見えない何かに寝込みを襲われて、遂には無理矢理契りを結ばされてしまう。

完全に怪異に囚われてしまった少女の危機はもはやその場での行為だけで済まされず、とうとう彼らの巣へと連れ去られて……